



第2期
麻生区区民会議報告書

心が響きあう地域づくり

2010(平成22)年
麻生区区民会議

第2期の報告書の刊行によせて

麻生区区民会議が発足して4年が経過し、第2期の区民会議の報告を皆様にお届けすることになりました。第2期の区民会議は、平成20年7月に第1期からの継続委員6名と新しい委員14名の計20名で発足いたしました。

第2期の区民会議では、第1期の審議事項を踏まえ、継続する課題と新しい課題の検討を行い第2期の取組課題について審議検討しました。

「心が響きあう地域づくり」のメインテーマについては引き継ぐこととし、課題を整理した結果、専門部会の地域交流部会と環境部会の2つの専門部会を立ち上げることにしました。調査審議は部会が中心となり進めてきました。区民会議委員は2つの専門部会のいずれかに所属することになっています。また第1期と同様に企画部会を置き、区民会議全体に関わる問題の検討や広報広聴に関すること等を行ってきました。

企画部会では、第1期から引き継ぎました「高齢者が輝く地域づくり」を受け、提案された事項についての推進に努め効果をあげることができました。広報の発行についても、区役所の協力を得ながら、委員が主体的に携わり、発送を行うなどの業務についても改善に取り組みました。

地域交流部会では、第1期の継続として「あいさつが交わしあえる地域づくり」の事例集を作成し、町会・自治会と連携して進めることにしました。また麻生区は、「音楽のまち川崎」「芸術のまち麻生」を受けて、「アルテリッカしんゆり」を開催するなど文化・芸術に関心を寄せる区民も多くいることから、芸術祭には子どもの絵画展などの企画・運営を行いました。また新しい区民も多いことから異世代間交流を行うための「エコバックづくり」を学生とのコラボレーションで行いました。地域の活動拠点の見直し等のための「子ども文化センター」については、今後どのように展開するのが望ましいかについて調査結果を審議し市民の活動の場を少しでも広げることができるよう試みました。

環境部会では、「エコのまち麻生」をキャッチフレーズに環境問題を審議し、生ごみリサイクル問題、地産地消に取り組むなど精力的に行いました。また少しでも温暖化防止に寄与でき、次世代につながるものとして「麻生区のエコカルテ」を作成しました。

第2期の区民会議では、調査審議するばかりでなく、モデル事業も行い、区民にアピールすることによって区民に密着した区民会議となるように努めました。

1年目は地域に出向く出前フォーラムを開催し、区民の意見を聞き区民会議が区民に身近な存在となるように試みました。2年目には、環境部会が中心となった「生ごみリサイクルと地産地消」のフォーラムを行い、専門家、地域で活動をされている人を交え、多くの共感を得ることができました。今期のまとめのフォーラムでは、町会・自治会を交え地域づくりに焦点をあわせたフォーラムとしました。区民会議と町会・自治会が連携してこそ、よいまちづくりができると実感しました。

区民会議が区民から遠い存在とならないように、また区民の意向をできる限りくみ取ることができるよう努力してきましたが、まだ知名度の低いのが現状です。

今後とも区民会議がより活発に活動し、麻生区の区民と協働して活動できることを願っています。麻生区が安心・安全で住みやすく、心豊かなまちであるために、区民・区民会議・区役所が連携することの大切さを実感した第2期の区民会議でした。そして第3期へと活動が続きますが、より一層のご協力とご支援をお願いいたします。

麻生区区民会議委員長 西谷明子

目 次

| | | |
|---|--------------------------------|----|
| 1 | 第2期麻生区区民会議について | 1 |
| | (1) 麻生区区民会議とは | |
| | (2) 麻生区区民会議の審議の流れ | |
| | (3) 専門部会の役割 | |
| | ①企画部会 | |
| | ②地域交流部会 | |
| | ③環境部会 | |
| 2 | 検討テーマ（地域課題）の選定について | 6 |
| | (1) 第1期区民会議からの引き継ぎ事項 | |
| | (2) 第2期区民会議委員からの提案 | |
| 3 | 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて | 8 |
| | (1) 企画部会の取り組み | |
| | ①高齢者が輝く地域づくり | |
| | ②広報・公聴 | |
| | (2) 地域交流部会の取り組み | |
| | ①市民活動推進 | |
| | ②文化芸術のまちづくり | |
| | ③異世代間交流 | |
| | ④地域のつながり「あいさつ」がはじまり | |
| | (3) 環境部会の取り組み | |
| | ＜エコのまち麻生の推進～持続可能な地域社会の創造を目指して＞ | |
| | ①生ごみリサイクルと地産地消 | |
| | ②環境教育資料づくり「エコカルテ」 | |
| | ③他団体への協力「環境家計簿」 | |
| | (4) 提言 | |
| 4 | 区民会議フォーラムについて | 30 |
| | (1) 区民会議出前フォーラム | |
| | (2) 生ごみリサイクルと地産地消フォーラム | |
| | (3) 区民会議フォーラム | |
| 5 | 第3期麻生区区民会議に向けて | 42 |
| 6 | 資料 | 49 |
| | ①麻生区区民会議委員・参与名簿 | |
| | ②第2期麻生区区民会議の活動の経過 | |
| | ③麻生区区民会議における広報等の主な取り組み | |
| | ④関係規程 | |

1 第2期麻生区区民会議について

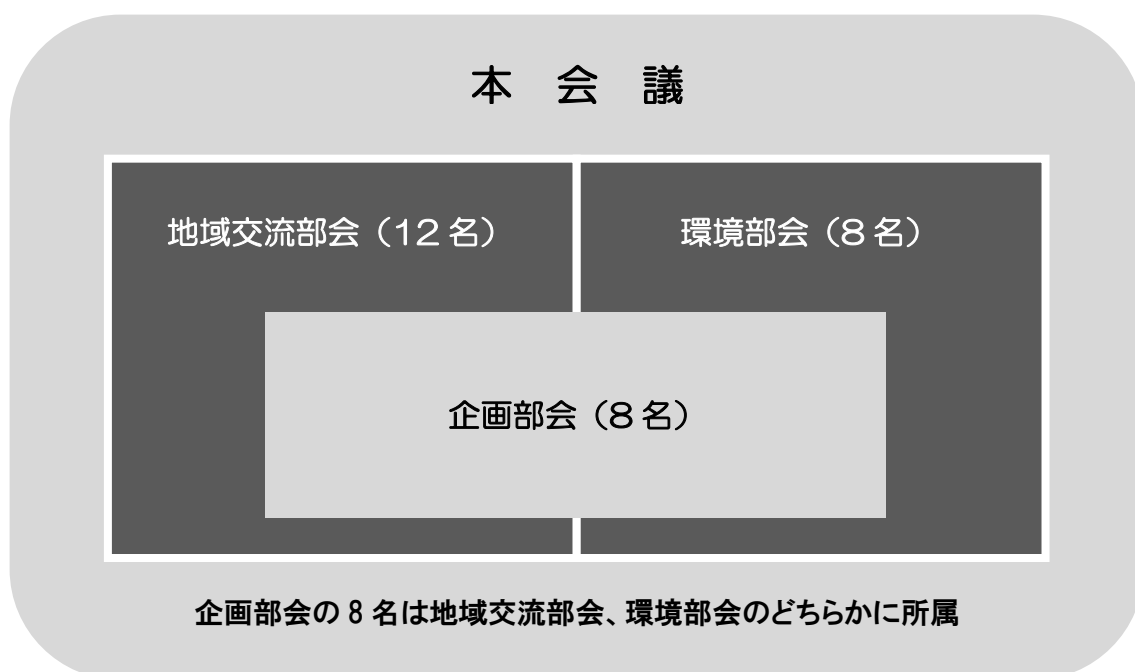
1

麻生区区民会議とは

川崎市では、市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと「川崎市自治基本条例」を制定(平成17年4月1日施行)しました。区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から各区に設置され、地域の課題を区民が主体的となって解決するためにどうすればよいかということをお話し合う会議です。

麻生区区民会議は、第1期(平成18年7月～平成19年6月)の2年間で3つのテーマについて議論を行い、地域や区民が主体となった課題解決に向けた取り組みを進めてきました。平成20年7月に2期目を迎えて新たな体制でスタートした麻生区区民会議は、第1期の全体テーマである「心が響きあう地域づくり」を引き継ぎ、第1期の取り組みや成果を活かしてだれもが暮らしやすいまちづくりを目指して課題の解決に向けた調査審議を行いました。

区民会議は以下の構成となっています。



第2期麻生区区民会議任期

平成20年7月1日～平成22年6月30日

①全体テーマ

第2期区民会議では、第1期区民会議の全体テーマである「心が響きあう地域づくり」が、どの活動にも目標となりうる共通の方向性をもっていることから、第2期も引き続き全体テーマとすることにしました。

②地域課題の把握・整理

区民会議では、「委員が日頃の活動等を通じて把握した課題」「区民の暮らし、地域社会が抱える課題」「区役所が業務等を通じて把握した課題」(P4の表を参照)の整理・調整を行いました。

③本会議の開催

本会議では、整理された課題を共通するキーワード「地域交流」と「環境」に分類し、調査審議の事項の選定、調査審議の方法を決定、課題解決策の検討等を行いました。

本会議は全部で8回開催しました。

④専門部会の設置

区民会議では、課題の整理・調整、議事の事前調整、広報等を担う企画部会を設置しました。企画部会は全部で7回開催しました。

また「地域交流部会」「環境部会」を設置し、第1期から引き継いだ事項や本会議で整理された課題について調査審議を行いました。地域交流部会は全部で11回、環境部会は全部で12回開催しました。



⑤広報・公聴

(区民会議ニュースの発行)

第1期から引き続き、委員が手づくりの区民会議ニュースを発行しました。区民会議ニュースは企画から原稿作成、印刷、袋詰め作業、町会・自治会あて発送作業など、委員自らが行いました。区民会議ニュースは全部で第1号から第6号まで発行しました。

また町会・自治会の協力を得て回覧いたしました。

(提案箱の設置)

いつでも、だれもが区民会議に対して意見を言えるようにしようということで、第1期に引き続き、区役所ロビーに区民会議提案箱を設置しました。また第1期に引き続き、区民会議の傍聴者アンケートを実施するなど公聴活動にも力を入れました。

(ホームページに会議の摘録を掲載)

平成21年2月に開催した区民会議出前フォーラムの意見交換の場で、区民会議のホームページに「会議の摘録を掲載してほしい」との意見があり、本会議において協議した結果、第2期区民会議の開催当初に遡り、本会議・専門部会ともに区民会議のホームページに摘録を掲載することとしました。

(出前フォーラムの開催)

区民の方々に区民会議をもっと知ってもらおう、区民の方々と意見交換をしようということで出前フォーラムを開催しました。区役所から外に飛び出し、区内3箇所で開催しました。

平成21年
2月21日(土)
13:00~15:30

北部リハビリテーション
センター会議室

平成21年
2月28日(土)
13:00~15:30

麻生区役所
柿生連絡所会議室

平成21年
3月1日(日)
13:00~15:30

はるひ野黒川
地域交流センター
ホール

(区民会議フォーラム)

第2期区民会議の取り組み状況を区民の方々への報告と意見交換をするためのフォーラムを開催しました。

平成22年
2月7日(日)
13:00~16:00

麻生区役所
第1・2会議室



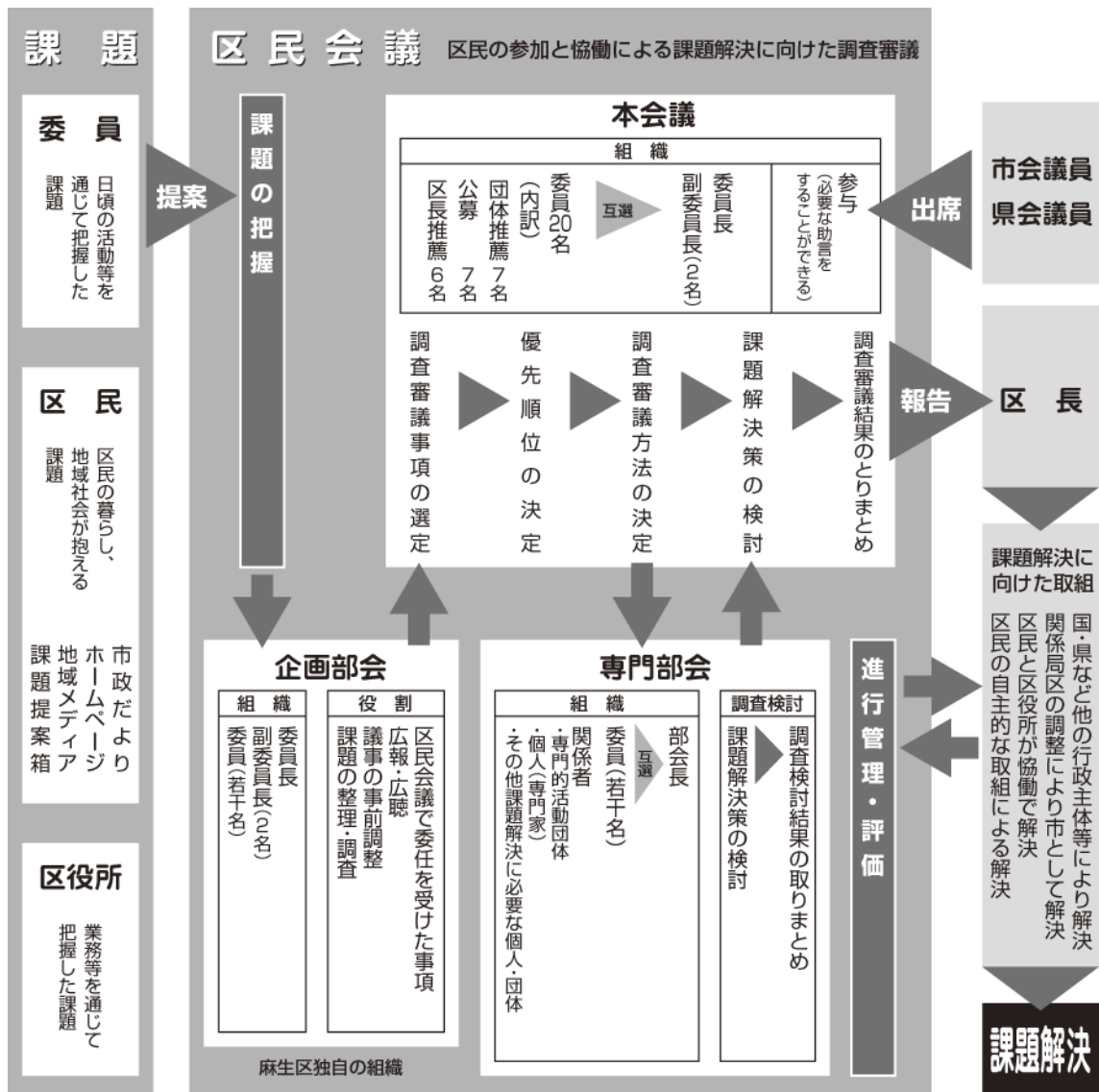
⑥調査審議のパターン

麻生区区民会議では、地域の課題の解決に向けた検討を行うにあたって、次の2つのパターンで調査審議を行いました。

パターン1 「調査審議」▶ 提言
区民会議委員が分担して調査を行い、調査結果を踏まえ提言する。

パターン2 「調査審議」+「モデル事業実施」▶ 提言
区民会議委員が調査審議の過程で、他の団体と協働してモデル事業を行い、その結果を踏まえて提言する。

■麻生区区民会議の機能イメージ



3

専門部会の役割

①企画部会

(設置目的・役割)

区民会議運営の事前調整、課題整理、広報・公聴などを行うことを目的に第1期に引き続き企画部会を設置しました。本会議の1週間程度前に定例的に開催するほか、臨時に数回開催しました。

(構成員)

構成員8名。

区民会議の正副委員長に加え、各部会の部会長と立候補した委員によって構成。

②地域交流部会

(設置目的・役割)

第1期からの継続テーマ「地域のつながり『あいさつ』がはじまり」のほか、委員が日頃の活動を通じて把握した課題等の中から「文化芸術のまちづくり」「異世代間の交流」「市民活動推進」が挙がり、その課題の調査審議を行うことを目的に地域交流部会を設置しました。

(構成員)

構成員12名。立候補した委員によって構成。

③環境部会

(設置目的・役割)

委員が日頃の活動を通じて把握した課題等の中から「区民の身近なエコの取組の推進」が挙がり、第1期からの継続テーマ「地元農産物と地域交流」を含めたかたちで「エコのまち麻生」を取組課題とし、その課題の調査審議を行うことを目的に環境部会を設置しました。

(構成員)

構成員8名。立候補した委員によって構成。

2 検討テーマ（地域課題）の選定について

1

第1期区民会議からの引き継ぎ事項

全体テーマ 心が響きあう地域づくり

第1期の区民会議では、だれもが住みやすく、安心して暮らせるまちであるためには、人と人のコミュニケーションが大切であることから、全体テーマを「心が響きあう地域づくり」としました。

このテーマは、今後の地域づくりの基本であり、第2期の区民会議においても引き継いでほしいとの意見がありました。

個別テーマ 地域のつながり「あいさつ」がはじまり

第1期の区民会議では、人と人をつなぐ始まりは「あいさつ」であることから、「あいさつ」を通じて子どもの見守りを行うなど、防犯パトロールの支援(防犯パトロール用ベストや腕章等の貸与)を行いました。

次期の区民会議では、さらに地域のコミュニティづくりを進めるために、町会・自治会、市民活動団体が取り組んでいる先進的なコミュニティづくりの事例を調査し、その事例を地域の中に広めてほしいとの意見がありました。

個別テーマ 高齢者が輝く地域づくり

第1期の区民会議では、元気な高齢者が地域活動に参加するなど、どのように地域づくりにつなげていくかということで、老人いこいの家の調査を行いました。その調査結果に基づき、老人いこいの家の活性化(案)をまとめました。

次期の区民会議では、老人いこいの家の活性化(案)を担当部署に送付、改善等を依頼してほしいとの意見がありました。

個別テーマ 地元農産物と地域交流

第1期の区民会議では、麻生区の特産である「農」に着目し、どのように地域づくりにつなげていくかということで、区内の小中学校あてに食育等の取組状況、学校農園の状況、学校と地域との連携・交流等について調査を行いました。調査結果については、各学校に配布して情報共有をしてもらいました。

次期の区民会議では、「農」「食育」などを通じた地域づくりを引き続き進めてほしいとの意見がありました。

2

第2期区民会議委員からの提案

第1回区民会議本会議において、委員が日頃の活動を通じて把握した課題等を挙げてもらい、大きく分類すると、次の課題が挙がりました。区民会議では、第1期からの引き継ぎ事項や第2期の委員から挙がった課題を整理するために、企画部会を設置し、課題の整理・調整を行うことにしました。

文化芸術の
まちづくり

異世代間の
交流

市民活動
推進

エコのまち
麻生の推進

企画部会では課題を整理し、第2回区民会議に以下のように提案し、承認されました。

第1期の取組課題である「高齢者が輝く地域づくり」については、高齢者部会の中で取りまとめた「老人いこいの家の活性化(案)」を担当部署に送付するとともに、企画部会の中でその動きを見ることになりました。

第2期で提出された審議課題は、多岐にわたっているものの、大きく「地域交流」と「環境」のどちらかに関係すると考えました。

「地域交流」については、「文化芸術」を挙げた委員が2名、「チョイボラ」といった市民活動の推進、「コミュニティづくり」、「異世代間の交流」、「子育て」といった課題を挙げた委員が各1名ずつおり、第1期の取組み課題である「地域のつながり『あいさつ』がはじまり」を含めて「地域交流部会」を設置することとしました。

「環境」については、「地球温暖化」を含めた自然・環境にかかわる課題を挙げた委員が4名、「緑の保全」を挙げた委員が1名おり、第1期の取組み課題である「地元農産物と地域交流」を含めて「環境部会」を設置することとしました。

●検討テーマの整理

整理されたものを図に表すと次のとおりになります。

| 第1期区民会議 | 第2期区民会議 |
|-------------------------------|---|
| 全体テーマ | 全体テーマ |
| 心が響きあう地域づくり | 心が響きあう地域づくり |
| 部会の設置と取組課題 | 部会の設置と取組課題 |
| 企画部会 広報(区民会議ニュース等発行) | 企画部会 広報(区民会議ニュース等発行)(継続) フォーラム開催 |
| 高齢者の部会 高齢者が輝く地域づくり | 高齢者が輝く地域づくり(継続) |
| 農の部会 地元農産物と地域交流 | 環境部会 エコのまち麻生の推進 地元農産物と地域交流(継続) 生ごみリサイクルと地産地消フォーラム開催 |
| 全体(本会議) 地域のつながり「あいさつ」がはじまり | 地域交流部会 市民活動推進 文化芸術のまちづくり 異世代間の交流 地域のつながり「あいさつ」がはじまり(継続) |

3 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

1

企画部会の取り組み

①高齢者が輝く地域づくり

企画部会では、第1期の区民会議でまとめた「老人いこいの家の活性化(案)」を担当部署である健康福祉局高齢者在宅サービス課に送付するとともに、できるものについては取り組んでほしいとの依頼をしました。

その結果、第2期の任期中に次の2点について実現することになりました。

老人いこいの家・老人福祉センターの愛称募集

- ・第1期区民会議の高齢者部会で老人いこいの家の調査をする中で、施設の名称に「老人」とつくので行きたくないといった意見がありました。今回、愛称という形ではありますが、名称が変わることになり、利用が増えることになると期待しております。
- ・区民会議としても、提言した内容が実現したということで、各委員が愛称募集に応募することになりました。また第1期の区民会議委員にも提言が実現した旨の手紙と応募用紙を送り、応募するよう依頼しました。

愛称募集期間

平成21年12月11日(金)～平成22年2月12日(金)

応募方法

所定の応募用紙に愛称とその理由を記入して健康福祉局高齢者在宅サービス課に提出

老人いこいの家・老人福祉センターのアンケートの実施

- ・第1期区民会議の高齢者部会で老人いこいの家の調査をする中で、施設、設備といったハード系の提案や開館時間や開館日といったソフト系の提案を行いました。
- ・今回よりよい施設を目指すという目的で、現在施設を利用している方、利用していない方、60歳前の方からの声を聞くということになり、アンケートを実施することになりました。
- ・アンケートの項目では、開館時間や日曜日・祝日の開館といった項目もあり、区民会議が提案した項目がアンケートの中に盛り込まれています。
- ・区民会議としても、提言した内容の実現が近づく第一歩として、アンケートに参加することになりました。また第1期の区民会議委員にも、アンケート用紙を送り、参加するよう呼びかけました。

アンケート実施期間

平成21年12月11日(金)～平成22年2月12日(金)

応募方法

所定の応募用紙に愛称とその理由を記入して健康福祉局高齢者在宅サービス課に提出

②広報・公聴

広報・公聴の取組はP3を参照。

2

地域交流部会の取り組み

①市民活動推進

地域拠点施設「こども文化センター」の調査

- ・地域の拠点施設の一つとして「こども文化センター」などが位置づけられており、それぞれが市民活動支援の場の提供などを行っています。
- ・しかし、次のような課題が挙がりました。
 - 各拠点施設間の連携、情報の共有・発信が足りないのではないか
 - 各施設の利用方法や相談窓口事業の広報など工夫が必要ではないか
- ・これらの課題を踏まえ、こども文化センターが「市民活動の地域の拠点としてどのような使われ方をしているか」などについて事前アンケート結果を基に、こども文化センターに出向き、ヒアリング調査を実施することとしました。

ヒアリング調査

●実施日

平成21年8月～9月

●場所

区内10箇所のこども文化センター

●実施内容

アンケート調査を実施後、結果を踏まえ、区民会議委員が分担して各こども文化センターを訪問、ヒアリング調査を実施

●実施結果

- こども文化センターは子どもの利用が最優先の施設だが、子どもたちの利用がない場合に限り市民活動としての利用が可能である。
- 地域の拠点としての認知度が低く、利用団体が固定化している傾向がある。
- 現在は利用数がそれほど多くなく調整できているが、市民活動での利用希望が多くなった場合、利用制限が必要と思われる。

提言

- 地域拠点施設としてのこども文化センターの認知度が低いため、積極的な広報が必要である。
- 「区役所」のホームページ、市政だより区版を使った広報が必要である。
- 利用促進のためのチラシ等を作成する必要がある。
- 区内全てのこども文化センターが連携した取組みや「地域の拠点」施設の利用促進を図るために、まずは情報交換の場を設けられるよう働きかけていく必要がある。また、それらを通じ、市民利用促進に向けた具体的取組みに結びつくことを期待する。
- 将来的に、こども文化センター以外の市民活動支援の場を増やしていくべきである。第1期で行った「老人いこいの家」の利用についての提言なども踏まえ、引続き区民が利用しやすい施設運用への提案など行っていく必要がある。また、より市民が使いやすい施設とするため、将来的には条例改正も含めた検討を期待する。

ヒアリング事前調査表

1. 利用者数・登録団体などについて

- ①前回調査で、直近3年間の利用者数が大幅に変動していた施設について、その主たる原因として、どのようなことが考えられますか？(片平・千代ヶ丘子ども文化センターのみ)

例: イベント開催を多したため、来館者が増加した。

- ②登録団体数は、いくつありますか？ _____ 団体

- ③登録団体の内、貴センターを利用して活動している団体の活動状況をお答えください。

* 別紙によりご回答ください。

2. 施設貸出し方法について

- ①登録団体へは、全ての部屋(但し事務室を除く)が貸出し対象になっていますか？

はい ・ いいえ

↓ 「いいえ」と答えた方のみ

貸出し対象になっていない部屋名

- ②同一時間帯に貸出ししている部屋数は何部屋までですか？ _____ 部屋

- ③1団体が1度に借りられる部屋数は、最大何部屋までですか？ _____ 部屋

- ④登録団体が利用することが多い部屋はありますか。

はい ・ いいえ (特に利用頻度の高い部屋はない)

↓ 「はい」と答えた方のみ

部屋名 _____

- ⑤登録団体から利用申請がされて、貸出しできないことがありますか？

度々ある ・ たまにある ・ ない

具体的には、どのような場合ですか？(「ない」と答えた方以外お答えください)

⑥団体からの施設貸出し希望が現在より多くなった場合、問題は起きますか？

はい ・ いいえ

↓ 「はい」と答えた方のみ

具体的にどのような問題が予想されますか？

例：一般利用する部屋の制限が増え、児童厚生施設としての活動に支障が出る可能性がある。

3. 地域への広報活動について

①「こども文化センターだより」等を地域住民の方へ広報をしていますか。

はい ・ いいえ

↓ 「はい」と答えた方のみ

具体的にどのような方法で行っていますか？

例：自治会に回覧を依頼している。

4. 「老人いこいの家」との連携について

*「老人いこいの家」と合築している施設のみお答えください。

①「老人いこいの家」と合同で行事を行うことはありますか？

はい ・ いいえ

↓

「はい」とお答えされた方は、具体的に実施した行事内容を御記入ください。

「いいえ」とお答えされた方は、やっていない理由と新たに実施する場合の課題等を御記入ください。

5. その他

こども文化センターが「地域の拠点」として位置づけられていることについて、御自由に御意見等を御記入ください。

*ヒヤリング終了時に事務局にご提出ください。

ヒアリング調査結果

| | 麻生 | 王禅寺 | 岡上 | 柿生 | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---------------------------------------|------------------------|---------|------|---------|-----|
| 1.利用者数・登録団体 | | | | | | | | |
| ①直近3年間の増加理由 (急増した片平・千代ヶ丘のみ) | | | | | | | | |
| ②団体数 | 30 | 13 | 13 | 9 | | | | |
| ③登録団体 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 |
| | 子育て | 12 | 子育て | 4 | 子育て | 6 | 子育て | 1 |
| | スポーツ・健康 | 10 | スポーツ・健康 | 6 | スポーツ・健康 | 4 | スポーツ・健康 | 3 |
| | 音楽 | 1 | 音楽 | 2 | 音楽 | | 音楽 | 1 |
| | その他 | 7 | その他 | 1 | その他 | 3 | その他 | 4 |
| | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 |
| | 月1～2回程度 | 16 | 月1～2回程度 | 9 | 月1～2回程度 | 12 | 月1～2回程度 | 7 |
| それ以下 | 14 | それ以下 | 0 | それ以下 | 1 | それ以下 | 2 | |
| 2. 施設貸出し | | | | | | | | |
| ①貸出し部屋 (貸出ししていない部屋) | 一部 学習室 | 全部 | 一部 遊戯室 | 一部 遊戯室 | | | | |
| ②同一時間帯の貸出し数 | 4 | 5 | 4 | 4 | | | | |
| ③1団体が貸しられる部屋数 | 3 | 1 | 原則 2、児童健全育成 | 4 1 | | | | |
| ④利用が多い部屋 | 集会室・乳幼児室 | 集会室 | | 集会室 | | | | |
| ⑤貸出しできない時 (貸出しできない理由) | 度々ある 利用希望が重なったため | たまにある 館内整備・行事のため | ない | 度々ある 休校日 | | | | |
| ⑥貸出し希望が増加した場合 | 部屋によって希望が多くなり調整が必要になる。 | 公平性に利用できるようルール作りが必要 | 一般利用者で問題を抱えた方もおり、その方々が利用しにくくなる可能性がある。 | 部屋によって希望が多くなり調整が必要になる。 | | | | |
| 3. 地域への広報活動について (こ文ニュースほか) | 地元町内会を通じ各戸配布 | 地域版を年5～6回作成し、地元町内会へ配布 | 地元町内会を通じ回覧 | 地元町内会を通じ回覧 | | | | |
| 4. 「老人いこいの家」との連携 | | | | | | | | |
| ①老人いこいの家との合同行事は (老人いこいの家との合築施設のみ) | 実施していない 指定管理者も違うため、特に情報交換は行っていない。 | 実施していない 行事の時に設備を借りることがある。行事に参加してもらった際の事故発生時の対応などに課題がある。 | 実施している 輪投げ大会 | | | | | |
| 5. その他 | <p><主な回答></p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども中心の施設ではあるが、地域の方にも利用してもらえるよう働きかけている。 こども文化センターで実施する行事を地域の方が楽しみにされている方も多く、それらを通じて更なる地域との信頼関係を築いていきたい。 利用が多い部屋は、これ以上の利用希望が出てきた場合は調整(抽選など)も必要と考える。 他区で、自治会の会報にこども文化センターの記事を掲載している事例があるので、地域との連携を図って広報活動などにも力を入れていきたい。 地域の子育ての拠点機能の拡充や中高生の居場所づくりの利用拡充などが求められており、現状の施設の状態などから新たな市民活動団体の利用については困難な面がある。 | | | | | | | |

| 片平 | | 千代ヶ丘 | | 虹ヶ丘 | | 白山 | | 東百合丘 | | 百合丘 | |
|---|-----|---|-----|---------------------|-----|------------------------|-----|---------------------------------------|-----|------------------------|-----|
| 幼児専用ルームにしたことで、親子連れの利用者が急増した。また、小学生のクラブの開設や行事を企画した結果、大幅に利用者が増えた。 | | 万福寺地区の開発が終わり、転入者が大幅に増加した。運営協議会発行のチラシ(年2回)で、こ文利用方法などについて広報している効果もある。 | | | | | | | | | |
| 22 | | 13 | | 4 | | 12 音楽室利用 43 | | 13 | | 21 | |
| ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 | ジャンル | 団体数 |
| 子育て | 13 | 子育て | 7 | 子育て | | 子育て | 2 | 子育て | 3 | 子育て | 1 |
| スポーツ・健康 | 6 | スポーツ・健康 | 4 | スポーツ・健康 | 4 | スポーツ・健康 | 8 | スポーツ・健康 | 6 | スポーツ・健康 | 3 |
| 音楽 | | 音楽 | | 音楽 | | 音楽 | 1 | 音楽 | 1 | 音楽 | 6 |
| その他 | 3 | その他 | 2 | その他 | | その他 | 1 | その他 | 3 | その他 | 11 |
| 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 | 利用頻度別 | 団体数 |
| 月1～2回程度 | 8 | 月1～2回程度 | 13 | 月1～2回程度 | 4 | 月1～2回程度 | 11 | 月1～2回程度 | 11 | 月1～2回程度 | 15 |
| それ以下 | 14 | それ以下 | 0 | それ以下 | 0 | それ以下 | 1 | それ以下 | 2 | それ以下 | 6 |
| 全部 | | 一部 | | 全部 | | 全部 | | 全部 | | 全部 | |
| | | 図書室 | | | | | | | | | |
| 5 | | 5 | | 1 | | 1 | | 5 | | 5 | |
| 2 | | 1 | | 3 | | 1 | | 1 | | 1 | |
| 集会室・学習室 | | 集会室・遊戯室 | | 集会室 | | 集会室・遊戯室 | | 集会室 | | 集会室 | |
| ない | | たまにある | | たまにある | | ない | | たまにある | | たまにある | |
| | | 館内行事・職員会議など | | 館内行事・休校日 | | | | 館内行事・休校日 | | 館内行事 | |
| 大幅に増加しなければ大きな支障はない。 | | 夜間の貸出し増の対応は可能。その他は難しい。 | | 大幅に増加しなければ大きな支障はない。 | | 部屋によって希望が多くなり調整が必要になる。 | | 団体利用者の増加により一般利用者の利用できる部屋が制限される可能性がある。 | | 大幅に増加しなければ大きな支障はない。 | |
| 地元町内会を通じ回覧 | | 地元町内会を通じ回覧 | | 地元町内会を通じ回覧 | | 町内会掲示板への掲示 | | 地元町内会を通じ回覧 | | 行事毎に自治会への回覧・掲示板への掲示を依頼 | |
| 実施していない | | | | | | 実施している | | | | | |
| 老人いこいの家利用者に、書道を教えてもらっている。 | | | | | | マジックショー | | | | | |

②文化芸術のまちづくり

川崎市では初めて「川崎・しんゆり芸術祭 2009」（平成 21 年 4 月 24 日～5 月 10 日）が新百合ヶ丘駅周辺で開催されることになり、区民会議では「区民主体の文化芸術のまちづくり」という課題との関係で区民会議としてどのように関わっていくか意見交換を行いました。その結果、区民の交流を意識した「市民参加の芸術祭」としての雰囲気づくりをするための側面支援していくことになりました。具体的には以下の取り組みを行いました。

小学生の絵画展示

平成 21 年度

「わたしたちの町～わがまち自慢～」をテーマとした小学生の描いた絵画を飾り、街の賑わいや歓迎ムードを演出、芸術祭の雰囲気づくりをしました。

- 実施期間

平成 21 年 4 月 20 日(月)～平成 21 年 5 月 7 日(木)

- 実施場所

新百合ヶ丘駅北口フェンス

- 参加者

区内小学校 17 校 252 名

- 区民会議での意見

小学生の絵画展は、足を止めてご覧になる方も多く見受けられ、実施して良かったとの意見が多く出されました。その一方で、次のような課題もあげられました。

○実施目的などを記載した看板が小さくわかりにくかった。

○もう少し展示物が多い方がよかった。

○幼稚園児など他の世代も含めて検討した方がよいのではないか。



平成 22 年度

平成 21 年度に引き続きゴールデンウィークに開催された「川崎・しんゆり芸術祭 2010」を盛り上げる目的で、小中学生による絵画展を開催しました。

- 展示期間

平成 22 年 4 月 28 日(水)～5 月 6 日(木)

- 実施場所

新百合ヶ丘駅北口フェンス

今回は区内こども文化センターに依頼し、「わがまち〇〇（こ文名）」というテーマで作成しました。

提言

○区民会議が関係団体と協力して行った絵画展は、芸術祭の雰囲気づくりや開催ムードを盛り上げるという点では成果があった。

○川崎・しんゆり芸術祭は継続して開催していく予定であり、今後も芸術祭を盛り上げる企画は必要である。

美化清掃活動

平成 21 年度

区民や地域の団体等と連携し、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を行ないクリーンアップすることで、「芸術のまち」にふさわしい清潔感のある雰囲気づくりと街のイメージアップを図りました。

- 実施日

平成 21 年 4 月 22 日(水)

- 実施場所

新百合ヶ丘駅北口・南口ペDESTリアンデッキなど

- 参加団体

区民会議、川崎市美化運動実施麻生部会、昭和音楽大学、日本映画学校、ジェイコムせたまち局、芸術祭実行委員会、しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム

- 区民会議での意見

美化活動について区民会議としては、区役所周辺において月2回定期的（第1木曜日・第3火曜日）に実施されている美化ボランティア活動に、委員が今後も可能な範囲で参加協力していくことになりました。



平成 22 年度

「川崎・しんゆり芸術祭 2010」に区内外から多くの来場者があることから、区民会議が関係機関に働きかけ、昨年に引き続き新百合ヶ丘駅周辺の清掃活動を実施することになりました。

- 実施日

4 月 20 日（火）午前 9：30～

- 実施場所

新百合ヶ丘駅北口、南口ペDESTリアンデッキなど

提 言

○新百合ヶ丘駅周辺では、美化ボランティア団体による清掃活動が月2回定期的に開催されており、今後の広がりを期待したい。

○第2期の区民会議の委員も可能な限り清掃活動に参加したが、第3期の区民会議でも可能な限り参加してほしい。

③異世代間交流

エコバッグづくりを通じた異世代間交流

平成 20 年度

区民会議と「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム、専修大学商学部前川ゼミナールの学生、保育園児との協働により、区内7保育園にてオリジナルエコバッグの作成に取り組みました。学生によって紙芝居や寸劇などでエコについてお話があり、「しんゆり・芸術のまち」のロゴ入りエコバッグに園児が自由に絵を描いて、楽しい雰囲気の中で行われました。

- ・ 11月11日 上麻生保育園（園児20名、学生6名、区民会議2名）
- ・ 11月14日 下麻生保育園（園児18名、学生7名、区民会議3名）
- ・ 11月18日 虹ヶ丘保育園（園児27名、学生8名、区民会議4名）
- ・ 11月19日 高石保育園（園児19名、学生6名、区民会議2名）
- ・ 11月21日 白山保育園（園児27名、学生6名、区民会議2名）
- ・ 11月25日 百合丘保育園（園児14名、学生6名、区民会議4名）
- ・ 11月26日 白鳥保育園（園児18名、学生5名、区民会議3名）



平成 21 年度

平成 21 年度は、2 箇所のこども文化センターと老人いこいの家の合築施設で、区民会議と専修大学、こども文化センター、老人いこいの家が協働し、小学生と高齢者との交流を目的にエコかるたとエコバッグづくりを実施しました。

- ・ 11月8日 麻生こども文化センター・麻生老人いこいの家（園児24名、高齢者3名、学生17名、区民会議5名）
- ・ 11月18日 岡上こども文化センター・岡上老人いこいの家（園児17名、高齢者12名、学生20名、区民会議4名）



提 言

○専修大学の学生が企画した「エコバッグづくりを通じて世代間交流」は、子どもたち、高齢者、学生と世代を超えた盛り上がりを見せ、世代を超えた交流づくりにつながった。

○区民会議がコーディネートした取り組みは、少しずつ地域の中への広がりをみせており、今後の地域への展開を期待したい。

地域への展開①

平成 21 年 4 月 18 日

市民交流館やまゆり

「ビバ！ かがやく子どもたち」開催

NPO 法人あさお市民活動

サポートセンターと

専修大学(前川ゼミナール)との連携

地域への展開②

平成 22 年 1 月 16 日

万福寺町内会館

「万福寺子ども会新年会」開催

万福寺こども会と

専修大学(前川ゼミナール)との連携

④地域のつながり「あいさつ」がはじまり

コミュニティづくりの事例集の作成

- ・「あいさつが交し合える地域づくり」を目的に、町会・自治会などが地域の中でコミュニティ活動に取り組んでいる事例について、調査しました。
- ・平成20年11月に、区内102町会・自治会にアンケート調査を実施しました。
- ・その中から、特徴的な取り組みを行っている町会・自治会などにヒアリング調査を実施しました。
- ・これらを併せて、調査結果を分析し、地域におけるコミュニティづくりに活用できる事例集として取りまとめ、町会・自治会などに配布していきます。

作成経過

| | |
|----------|------------------------------|
| 平成20年11月 | 町会・自治会のアンケート調査（102団体） |
| 平成20年12月 | 市民活動団体のヒアリング調査（15団体） |
| 平成21年3月 | ヒアリング調査対象の町会・自治会（23団体）の選定、実施 |
| 平成21年5月 | ヒアリング調査分析 |
| 平成21年11月 | 原稿確認、校正 |
| 平成22年3月 | 原稿完成、印刷 |

事例集の構成

- はじめに
- 「あいさつが交し合える地域づくり」について
- 「あいさつが交し合える地域づくり」の取組事例
- 「あいさつが交し合える地域づくり」の促進に向けて
- 資料編

提言

- 今回作成した事例集を活用し、地域の中で自然とあいさつができるような関係づくり、コミュニティ活動につなげてほしい。



全体テーマ 心が響きあう地域づくり

文化芸術・地域活性化

課題 ■区民主体による文化芸術のまちづくり ■麻生区民にとっての「しんゆり芸術のまちづくり」の意義

| 課題内容 | 課題解決策の検討 | 関連事業・関連活動・現状等 |
|------------------------------|--------------------------------|---|
| 1 幅広い区民、団体が参加する文化芸術のまちづくりの推進 | (ア) 文化芸術を生かした経済活動の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ●「しんゆり・芸術のまち」推進事業により事業展開(麻生区) ●「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムとホール管理者連絡会との連携(麻生区) ●麻生音楽祭 ●あさおランチタイムコンサート ●しんゆり映画祭野外上映会 ●えいぶるコンサートinあさお ●麻生区中学校合同音楽祭 など協働推進事業 |
| | (イ) 文化芸術活動や文化資源の情報一体化 | |
| | (ウ) 子ども、青少年、障害者、高齢者等の文化活動への支援 | |
| | (エ) 文化資源を生かした人材育成(講座や講演等への活用) | |
| | (オ) エコの推進と文化活動との連携 | |
| 2 区民主体の芸術フェスティバル等の検討 | (カ) 文化芸術を生かした都市間交流や国際交流 | <ul style="list-style-type: none"> ●「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと専修大学との連携により事業展開予定 ○京畿道フェア(5月) ○トルコ舞踏団公演(6月) |
| | (キ) 芸術フェスティバル等の実施 | ●芸術フェスティバル(平成21年4月29日～5月6日のGWを中心に開催) |
| 3 芸術を基調としたまちづくりの検討 | (ク) 麻生区民限定の芸術ポイントカードの導入 | ●しんゆり映画祭「映画祭フェア クーポン」 |
| 4 区民が参加しやすい「芸術のまちづくり」の検討 | (ケ) お母さん方が芸術文化に親しむためのアート保育所の創設 | <ul style="list-style-type: none"> ●小学校と昭和音楽大学との交流コンサート ●マタニティコンサート(麻生区) ●ジュニア映画制作ワークショップ |
| | (コ) 公教育における芸術文化授業の実施 | |

市民活動推進

課題 ■チョイボラ隊の結成(やまゆり／NPO法人あさお市民活動サポートセンター

| 課題内容 | 課題解決策の検討 | 関連事業・関連活動・現状等 |
|-----------------------------|--|--|
| 1 地域活動、市民活動を担うメンバーの高齢化による問題 | (ア) 協力してほしい「団体・グループ」と協力したい「区民」をつなぐ仕組みの検討 | <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動地域ネット「あさお大好きネット」(麻生区) ○ボランティア・市民活動相談(かわさき市民活動センター) |
| 2 若い世代、現役世代の参加しやすい仕組みづくりの検討 | (イ) 中高大学のサービ斯拉ーニングとの連携、活用 | ●市民活動相談(麻生区) |
| | (ウ) 麻生まちづくり市民の会・あさお市民活動サポートセンターを中心としたサポート体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア登録(各区社会福祉協議会) ●麻生地域づくりの活動資金助成事業(麻生区) |

地域交流・子育て

課題 ■コミュニティーづくり ■異世代間の交流 ■子育て

| 課題内容 | 課題解決策の検討 | 関連事業・関連活動・現状等 |
|---------------------|-----------------------------|--|
| 1 都市型コミュニティー(隣組)の促進 | (ア) 都市型コミュニティー(隣組)の促進の具体的検討 | ●あいさつが交し合える地域づくり事業を実施(麻生区) 平成20年度に地域のコミュニティ活動を実態調査し、平成21年度に事例集(手引き書)を作成 |
| 2 核家族から生じる問題 | (イ) 地域での実践の検証と取組の事例紹介 | ●あいさつが交し合える地域づくり事業を実施(麻生区) |
| 3 異世代間交流の促進 | (ウ) 実践している団体などとともに、交流の場の拡大 | ●あいさつが交し合える地域づくり事業を実施(麻生区) |
| | | ●シニアの地域デビューに向けたセミナー開催(麻生区) |
| 4 0才～6才児についての検討 | (エ) 遊び場の拡充、交流の場の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ●遊び場調査／白地図(麻生区) ●麻生区子育て人材バンク(麻生区) 【麻生プレイパークを創る会】 ○自然の遊び場実験(化粧面谷公園、早野聖地公園など) 【木こりの会】 ○緑と施設の調和のとれた公園づくり(籠ノ池公園) ○公園広場の草刈りなど(化粧面谷公園) ○広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定(まつのき緑地) |

【課題選定基準】(第1回区民会議にて承認)

1. 緊急性
2. 必要性
3. 公平性
4. 実現性
5. 協働による取組の可能性
6. 区民の主体性

【担い手の例】

1. 区民
2. 行政
3. 区民と行政
4. その他
町会自治会・商店連合会など

1.課題解決のための具体的なアイデア

【市民参加の芸術祭について】

芸術祭実行委員会が、芸術祭の企画運営を行っており、市民が企画運営に参加するのは困難である。市民参加の形態としては、広報・PRの支援や環境づくり・雰囲気づくり等の側面支援となる。

- 区民会議のネットワークを活用し、広報・PR等の支援をする。
- 花などにより、新百合ヶ丘駅周辺を装飾する。
- 小中学生の描いた絵により、新百合ヶ丘駅周辺を装飾する。
- 新百合ヶ丘駅周辺(デッキ上の池など)の清掃作業を行う。

- 市民利用施設の情報を実効的に提供するしくみをつくる。
- 各市民活動支援拠点施設間の連携・ネットワークのあり方を検討する。

【あいさつが交し合える地域づくり事業】の実施

あいさつが交わし合える地域づくり事業により、地域の特徴的なコミュニティ活動について、区内102町会・自治会を対象としたアンケートを実施。

【エコバッグ作成を通じた世代間交流】の実施

保育園、こども文化センター、老人いこいの家などで交流イベントの実施。

2.取組課題の絞込み

「市民参加の芸術祭」を優先的な課題とし、「市民活動の推進」や「異世代間の交流・子育て」は「市民参加の芸術祭」の取り組み状況を見ながら順次検討する。

「芸術祭」を「文化芸術のまちづくり」の絶好の機会として捉え、市民参加を図りながら連携支援をする。芸術祭への連携支援のあり方としては、区民会議のネットワークを活用し、地域と連携しながら広報・雰囲気づくり等側面的支援をする。

- 小学生の描いた絵画の展示
新百合ヶ丘駅周辺に「わたしたちの町～わがまち自慢～」をテーマとした小学生の描いた絵画を飾り、街の賑わいや歓迎ムードを演出し芸術祭の雰囲気づくりをする。
(実施期間)平成21年4月20日(月)～平成21年5月7日(木)
(実施場所)新百合ヶ丘駅北口のフェンス
- 新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動
区民や地域の団体等と連携し新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を行いクリーンアップすることで、「芸術のまち」にふさわしい清潔感のある雰囲気づくりと街のイメージアップを図る。
(実施時期)平成21年4月21日(火)
(実施場所)
・新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ上の水系施設周辺
・新百合ヶ丘駅南口中央オブジェ周辺
・新百合ヶ丘駅北口絵画展示場所周辺

- 【取組事例】
- 「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと連携し、エコバッグを通じた学生と幼児との交流事業を実施
 - 新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキ上オブジェ囲いの改修

こども文化センター(地域の拠点)の調査の実施

「川崎市市民活動指針」に基づき、「地域の拠点」として位置づけられているこども文化センターの調査を実施する。その結果を検証し、今後の取り組み内容について検討していく。

【あいさつが交し合える地域づくり事業】の実施

あいさつが交わし合える地域づくり事業により、地域の特徴的なコミュニティ活動について、区内102町会・自治会を対象としたヒアリングを実施し、事例集を作成する。

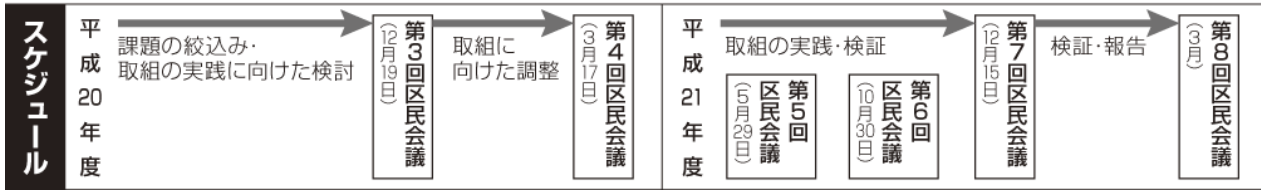
【エコバッグ作成を通じた世代間交流】の実施

3.取組の担い手

- 市民参加の芸術祭
区内公立小学校・区民会議・川崎美化運動実施麻生支部・昭和音楽大学・日本映画学校・J-COMせたまち・しんゆり芸術のまちづくりフォーラムなど
- こども文化センターの調査の実施
区民会議
- あいさつが交しあえる事業
町内会・自治会・区民会議 など
- エコバッグ作成を通じた世代間交流
区民会議、専修大学・公立保育園・こども文化センター・老人いこいの家

4.取組の成果

- 市民参加の芸術祭
絵画展 4月24日～5月8日
絵画252枚掲示
清掃活動 4月22日実施
のべ38名参加
- こども文化センターの調査の実施
実施日 8月26日～9月8日
出席委員 延べ19名参加
- あいさつが交しあえる事業
アンケート調査
H20年10月～11月
ヒヤリング調査
H21年3月～5月
編集・校正作業
- エコバッグ作成を通じた世代間交流
H20年度 公立保育園
H21年度 麻生こども文化センター 岡上老人いこいの家



＜エコのまち麻生の推進～持続可能な地域社会の創造を目指して～＞

環境部会は環境面からどのような麻生区をめざすのか、そのまちづくりについて議論し、第1期からの継続テーマ「地元農産物と地域交流」を含めたかたちで「エコのまち麻生の推進～持続可能な地域社会の創造を目指して～」を掲げました。その実現へのアプローチの仕方にはいろいろありますが、区民会議としては「区民に身近な問題で」「2年間の任期内に一定の結論が出る課題」にし、具体的に以下の3つに取り組みました。

- ①「生ごみリサイクルと地産地消」
(⇒「ごみ減量」+「麻生区の地域特性である農を活かしたまちづくり」を視点に)
- ②「環境教育資料づくり」
(⇒次代を担う小学生に向け、麻生区の自然環境状況とその保全に取り組むアイデア、事例などを盛り込んだエコカルテを作成し、視野を広げてもらう)
- ③他団体への協力
(⇒「環境家計簿による省エネの取り組み」協力)

①生ごみリサイクルと地産地消

生ごみリサイクルと地産地消の現状把握

検討経過

- 生ごみリサイクルの参考事例の調査
 - ①あさお生きごみ隊の取り組み
 - ②環境局のモデル事業「生ごみリサイクル推進モデル事業」
小学校の給食から出る生ごみを回収し、東京農大のプラントで生ごみ肥料「みどりくん」を製造。(麻生、南百合丘、王禅寺中央、虹ヶ丘、三田小学校)
- 調査検討内容
 - ①生ごみ提供者、回収問題、堆肥づくり、協力してくれる農家・町会探し
 - ②生ごみでつくった堆肥や肥料を使って野菜を栽培してくれる農家探し
生ごみに含まれる塩分などの問題
 - ③できた野菜を学校給食や区役所のレストランで採用してもらえないか
 - ④住宅地での堆肥づくりで臭いや虫の問題、ごみ処理や肥料取締法による法律での制約
 - ⑤この循環のモデル事業から面に発展できるか、一時的でなく安定的で継続できるものになりえるか
 - ⑥都市での生ごみのあり方、将来展望
- 見学と農家訪問
 - ①東京農大での生ごみリサイクルプラントの見学とヒアリング

- ②東京農大の近くで実践されている農家の見学とヒアリング
- ③世田谷区のじゅんかんチャレンジ桜丘の取り組みのヒアリング
- ④新宿の京王百貨店レストラン街での取り組みのヒアリング

区民会議でのモデル事業

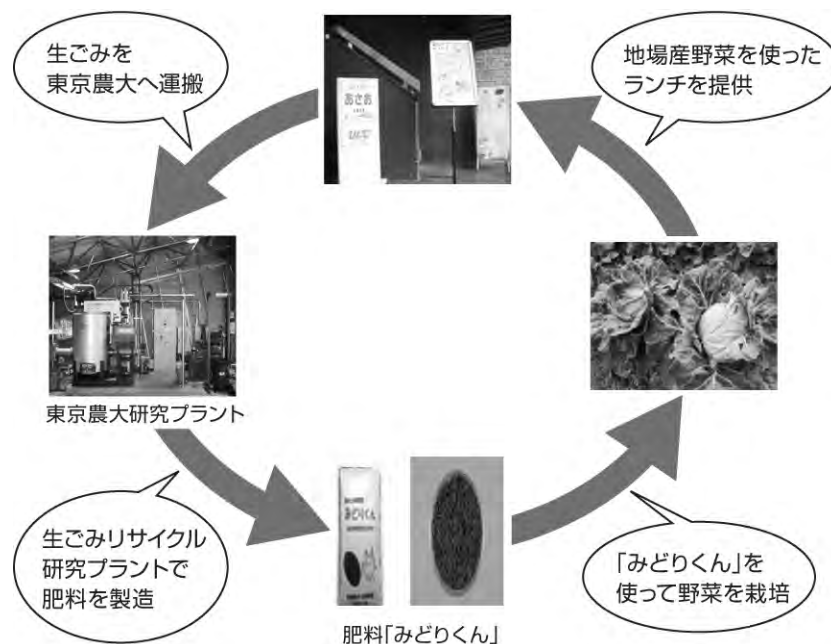
- ◇平成 21 年 3 月より具体的な取り組みを開始しました。
- ◇レストランあさお、東京農大、農家、食生活改善推進員、環境局の協力で実施しました。
- ◇レストランあさおで発生した生ごみを多摩生活環境事業所の車で収集して東京農大へ運搬、東京農大のリサイクル研究プラントで肥料「みどりくん」を製造、肥料「みどりくん」は区内農家の協力を得て野菜作りに活用、できた野菜を使ったメニューを毎月の食育の日（原則19日）に、「レストランあさお」でスペシャルランチとして提供。
- ◇モデル事業の実施にあたっては、レストランあさおの協力による試作メニューでの試食会を実施しました。
- ◇毎月 1 回、原則 19 日の食育の日に「あさおスペシャルランチ」として提供しました。
- ◇食生活改善推進員の協力で当日のメニューのレシピ作成・配布をしました。

【参考(昨年のメニュー)】

- 6月19日 キャベツとじゃこの和風サラダ
- 7月17日 ナスとベーコンのトマト煮
- 8月19日 しゃぶしゃぶ風冷製ゴーヤー
- 9月18日 麻生風秋茄子のカレーライス
- 10月19日 ロールキャベツ
- 11月19日 ミート入りポテトコロッケ
- 1月19日 白菜と豚ばら肉のクリームシチュー
- 2月19日 鳥ムネ肉の和風煮・万福寺人参のポタージュ



●生ごみリサイクル概略図



生ごみ堆肥・肥料でつくった花や野菜の写真展作品募集

生ごみがよい肥料や堆肥になり資源循環できることを広くアピールしたいと考えました。

◇生ごみから堆肥を作り、それで食物を育てて写真を撮り、手づくり堆肥作成過程を含めて審査するコンクールを考えました。しかしながら、堆肥作りから始めては参加者募集から写真展開催までに1年かかってしまい、3期になってしまうことから、今期はすでにある生ごみ堆肥や肥料を使っただけの成果物の写真展としました。

◇なお、写真展を独自に行うのではなく、次項で述べる地産地消フォーラムの中で1つの企画として行うこととしました。

●募集

平成21年7月～11月28日

区民会議ニュース、チラシなどで広報し、19件の応募があった。

生ごみリサイクルと地産地消フォーラムの開催

区民会議が取り組む生ごみリサイクルと地産地消の推進について、広く区民の方々のご理解をいただくために、次のようなフォーラムを開催しました。

- 日 時 平成21年11月29日(日) 午後1時～4時
- 場 所 麻生区役所4階 第一会議室
- 参加者 132名
- 内 容 詳細については、P33のフォーラムのところをご参照ください。



区役所ロビーでの生ごみリサイクル相談会の開催

各家庭から生ごみリサイクルと地産地消を進めることが、第一歩と考え、環境局主催の「区役所ロビーでの生ごみリサイクル相談会」に協力しました。

- 日 時 平成22年3月9日(火) 午前10時～午後4時
- 場 所 麻生区役所ロビー
- 参加者 60名
- 内 容 ・生ごみ堆肥化のための用具(コンポスト化容器、密閉バケツ、地中埋め込み式容器ダンボールコンポスト)展示。
・訪れた区民の各家庭の状況に合わせて、川崎市生ごみリサイクルリーダーが生ごみに関する様々な個別相談に応じるもので、川崎市で初めての試みでした。



生ごみ肥料化プラントの見学

生ごみリサイクルに取り組む市内企業(富士通(株)川崎工場・日本電気(株)玉川環境管理推進センター)と農家を見学しました。

- 日 時 平成22年3月12日(金) 午後1時～2時
- 見学場所

富士通(株)川崎工場

社員食堂から出る生ごみを工場内の生ごみ処理機で有機肥料「のびのびグリーン」を製造、製造した肥料は区内の農家に提供、できた野菜を社員食堂で使用している。

農家／中原区宮内

有機肥料「のびのびグリーン」を使って「小松菜」栽培しています。

日本電気（株）玉川環境管理推進センター

社員食堂から出る生ごみを工場内の生ごみ処理機で有機肥料「くすのき有機」を製造、製造した肥料は宮前クリーン農業研究会等に提供しています。

まとめ

1) 都市における生ごみリサイクルについて

- ・生ごみのリサイクルの方法については肥料化、堆肥化、家畜の飼料化、バイオマスエネルギー化などが考えられますが、置かれた状況により最適な方法を選択すべきと考えます。
- ・現時点では東京農大型プラントによる肥料化が適していると考えました。

長所…生ごみ投入から2時間程度で肥料として取り出せる。乾燥した粒状なので農作業も含めて扱い易く、長期保管も可能、住宅地に近いところでの臭いや虫の問題がない、有機農業と土作り。販売による費用回収も見込める

課題…①乾燥させるための熱エネルギーが必要。②肥料としての品質「家庭での分別の徹底（ラップなどの異物混入など）」③プラントの設置場所の検討（ごみ焼却排熱を活用でき、またごみ回収車ルートでの運搬を考えるとごみ焼却場が最適であり、王禅寺ごみ処理センターの設置が考えられる）④農家や農業団体での生ごみ肥料採用（他地域の農家への販売や将来的には輸出の可能性も視野に）。

2) 生ごみリサイクルと地産地消で都市農業振興、緑地保全のまちづくりへ

- ・毎日出る生ごみが肥料になり、その有機肥料でつくられた新鮮で安全安心の地場産野菜が家庭で購入され、結果として都市農業の振興・緑地保全につながると共に食料自給率の向上など資源循環の持続可能な地域社会の創造へ進むことが期待される。この関係性を区民に提起し、理解を深め、進めていくことが必要です。

提言

○上記「まとめ」の具体化にむけて検討をすすめるためのプロジェクトチームを立ち上げてほしい。

1) プロジェクトチームの構成は、区民、農家・農業団体（農協など）大学（東京農大、明治大など）、行政（環境局、経済労働局、麻生区役所）などの参加したものが望ましい。

2) 検討内容については、上記「まとめ」を含めた全般的なものとなるが、特に

①「生ごみ肥料化プラント」の設置場所として条件的に最適と思われる「王禅寺ごみ処理センター」の敷地への設置が望ましいのではないかと

②プラントによる生ごみ肥料化に際しては農家・農業団体が安心して採用できる堆肥・肥料づくりが必要なので段階的に進めていった方がよいのではないかと

など検討してほしい。

○レストランあさおでのモデル事業は、区民の「生ごみリサイクルと地産地消」を意識してもらうためにも継続してほしい。

○市内ではじめて麻生区役所で開催した「生ごみリサイクル相談会」は、区民の意識高揚を図る意味でも継続できるよう協力してほしい。

②環境教育資料づくり

麻生区エコカルテの作成

- ・身近な地域からの地球温暖化対策を進めるため、麻生区内におけるエコ関連の取り組み事例等を調査し、主に小学生向けの教材として「麻生区エコカルテ」を作成しました。
- ・区内の取り組みなどを中心に、次のような内容で構成します。
- ・なお作成に当たっては、区内公立小学校の校長先生方などから意見を伺いながら進め、次世代を担う小学生、中学生の環境教育データ集として、小中学校等に配りました。

取組経過

- 4月23日 栗木台小学校校長(理科学研究会会長)との打合せ
- 4月28日 長沢小学校校長(総合学習・生活科学研究会会長)との打合せ
- 5月11日 総合教育センター指導主事(総合学習担当)との打合せ
- 5月19日 東柿生小学校校長(麻生区小学校校長会会長)との打合せ
- 5月26日 麻生区小学校校長会にて説明
- 6月11日 環境部会(小学校の環境学習等での活用を検討)
- 7月30日 環境部会(エコカルテの中で紹介したい事例の検討)
- 9月3日 環境部会(エコカルテの中で紹介したい事例を決定)
- 10月1日 環境部会(エコカルテの作成過程の確認及び校正)計6回
～3月5日

〈麻生区エコカルテの構成〉

- 麻生区における温暖化の状況
- 麻生区における自然環境資源
- 麻生区内のエコの取組状況
- 地域別に見たエコの取組状況
- エコの事例紹介
- エコにチャレンジ



提言

- 区内小中学校等に配布した後、環境学習等を行う場合の基礎データとして有効活用してほしい。
- 今後の展開として、区民の身近なエコの活動につなげてほしい。

③他団体への協力

環境家計簿の取り組み

区民会議では、地球温暖化を考えるきっかけとして、「環境家計簿」の取り組みを予定していました。しかし、「麻生まちづくり市民の会」でも同様の取り組みが予定されており、環境家計簿モニタリングコンテストの実施と、講演会の具体的日程なども決定しておりました。これらを踏まえ、区民会議としては「麻生まちづくり市民の会」で実施するモニタリングコンテストに参加するなどして協力していくことになりました。

取組内容

- ・エコな生活の第一歩として、麻生まちづくり市民の会が行う環境家計簿コンテストへの協力。
- ・平成21年11月から平成22年1月までの3ヶ月間、今年と昨年の電気、ガス、水道の料金と使用量を記録して区役所地域振興課に提出しました。

報告会の開催

- 日 時 平成22年2月28日(日) 14:00~16:30
- 場 所 麻生区役所4階会議室
- 報告数 70世帯(登録数95世帯)

環境家計簿コンテスト写真



2010里山フォーラム in 麻生に参加

「緑と農の文化を生かすまち」をテーマに開催したフォーラムに区民会議も参加しました。

- 日時 平成22年3月13日(土)
- 場所 市民館大会議室ほか

全体テーマ 心が響きあう地域づくり

課題 ■エコのまち麻生の推進 ～持続可能な地域社会の創造を目指して～(身近な地域から地球温暖対策、緑化活動を実践)

| 課題内容 | 課題解決策の検討 | 関連事業・関連活動・現状等 |
|------------------------------------|---|---|
| 1 関連団体との連携、地域住民との交流 | 活動拠点として、環境館設立などを検討 | ●麻生区における市民活動の拠点施設として、平成19年4月に市民交流館やまゆりがオープン ●リサイクルパークあさお整備事業(環境局) ●環境総合研究所の整備に向けた検討(環境局) |
| 2 減量指導員・環境リーダーの効果的な活動 | 市民共同発電所設置等の促進、自然エネルギーを利用しやすい環境整備 | ●(太陽光)麻生区役所・柿生小・はるひ野小設置を、(風力)はるひ野小 ●住宅用の太陽光発電施設設備補助事業(1kWあたり3万円、上限12万円)(環境局) ●環境リーダー育成講座、廃棄物減量指導員(環境局) |
| | レジ袋の有料化の促進(レジ袋を使わなくてすむライフスタイルの提案実践など) | ●小田急OX栗平店、コープかながわでレジ袋有料化を実施(小田急商事は緑化基金に寄付)(環境局) ●マルイ溝口でレジ袋削減に伴う環境保全活動(高津区と多摩川エコミュージアムに寄付)(高津区) |
| 3 農業、都市緑地の保全と復元、ごみの削減とリサイクル、雨水利用など | 公共施設への太陽光発電設置と雨水利用などの検討 | ●身近な公共施設での再生可能エネルギー(太陽光発電設備、ソーラー街路灯)の導入に向けた調査を実施予定(環境局) |
| 4 「CCかわさき」と連動したまちづくり | 「エコのまち麻生」エコ憲章の検討 | ●地球温暖化防止条例の制定に向けた検討(環境局) ●地球温暖化対策地域推進計画の策定に向けた検討(環境局) |
| | 「エコのまち麻生」を目指すネットワークの検討 | ●「エコのまち麻生」をめざすまちづくりフォーラム開催(麻生区) |
| 5 小中学校での環境体験学習などの促進 | | ●自然エネルギー活用促進事業実行委員会が区内小学校への出前授業を展開(麻生区) ●4大学連携事業 地球温暖化防止をテーマに子ども向けミュージカルを実施(麻生区) |
| 6 家庭での緑化推進、CO2削減 | 家庭での緑化推進、CO2削減を具体的に検討 | ●ゴーヤのカーテン大作戦(各区) ●エコドライブの推進(環境局) ●ハイブリッド公用車の導入(麻生区) ●打ち水大作戦(環境局・川崎区・中原区・多摩区)／エコウェーブ(環境局)／マイバック(環境局・川崎区・幸区・宮前区) ●しんゆり芸術のまちで専修大学生が区内保育園でエコバックづくり(麻生区) ●コンポスト助成制度(環境局) |
| 7 緑地保全、緑化推進 | 東京都が実施している校庭の芝生化や公園の芝生化 | ●校庭の芝生化／宮前区土橋小(教育委員会) |
| 8 公園の手入れ | 公園を対象とした愛護会づくりの啓発 | ●麻生区内で81の公園緑地愛護会が維持管理活動を展開(環境局) ●木こりの会 籠口ノ池公園(緑と施設の調和のとれた公園づくり)／化粧面谷公園(公園広場の草刈りなど)／まつのき緑地(広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定) ●里山ボランティア(早野) |
| 9 緑地保全の検討 | 里地里山の保全(子どもの遊び場づくり) | ●麻生里地・里山保全推進事業(麻生区) ●麻生プレイパークを創る会 自然の遊び場実験(化粧面谷公園、早野聖地公園等) ●遊び場調査／白地図(麻生区) ●麻生区市民健康の森(麻生多摩美の森の会) ●木こりの会 籠口ノ池公園(緑と施設の調和のとれた公園づくり)／化粧面谷公園(公園広場の草刈りなど)／まつのき緑地(広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定) ●里山ボランティア(早野) ●屋上・壁面緑化への助成及び緑の活動団体への支援(環境局) ●麻生地域づくりの活動資金助成事業(麻生区) |
| 10 食育を通じての地域交流(第1期) | ●学校農園を通じた地域づくりを王禅寺小学校でモデル実施 4/14王禅寺小学校を訪問 4/17学校農園の土地所有者宅を訪問 4/17農業協力者宅を訪問 4/22王禅寺小学校と打合せ 5/29さつまいも、かぼちゃの作付け 10/28さつまいもの収穫を予定 | ○学校農園を通じた地域づくりを王禅寺小学校でモデル実施中 10月28日収穫、秋に収穫祭を予定 ●区内全小学校で農業体験学習を実施●学校農園(王禅寺、金程、真福寺、虹ヶ丘、白山、柿生、長沢、柿生、栗木台)●校外農園(王禅寺、岡上、金程、千代ヶ丘、片平)●地産地消の推進のために、区内産野菜を区役所の食堂でランチメニューとして活用(高津区) |
| 11 農産物直売所を通じての地域交流(第1期) | 8/7梶委員と打合せ(セレスモスと地域住民との交流事業について) 8/21梶委員からセレスモスと地域住民との交流事業について情報提供あり | ○セレスモス「情報センター」内にて地域住民との交流事業を展開(消費者向けワークショップ開催) ●料理講習会 夏野菜(7月7日・8日)・冬野菜(12月上旬予定)●多摩川梨フェア(8月上旬から9月上旬)●柿フェア(11月上旬～中旬予定)●シクラメン・パンジーフェア(12月上旬予定) |
| 12 市民農園及び援農を通じての交流(第1期) | 8/7梶委員と打合せ(農業従事者等への意向調査実施について) 8/29梶委員から意向調査の予定ない旨の連絡あり | ●JAでは、今秋より農業指導の派遣依頼があった場合、JAの指導者や農業従事者を派遣する事業を実施予定 |

【課題選定基準】
 1. 緊急性
 2. 必要性
 3. 公平性
 4. 実現性
 5. 協働による取組の可能性
 6. 区民の主体性

【担い手の例】
 1. 区民
 2. 行政
 3. 区民と行政
 4. その他
 町会自治会・商店連合会など

1.課題解決のための具体的なアイデア
●身近な地域から地球温暖化対策を実践する。
 (視点)
 ●川崎市地球温暖化対策地域推進画、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(COかわさき)等と連動し、家庭におけるCO2削減を推進する。
 ●エコ意識を高めるため、エコの普及啓発活動を展開する。

レジ袋削減に向けたエコバックの普及啓発
 環境家計簿を作成

●身近な地域から緑化活動等を実践する。
 (視点)
 ●川崎市環境基本計画、緑の基本計画等を踏まえ、身近な地域から実践的な緑化活動を行う。
 ●麻生区の地域特性である農を活かしたまちづくりを進める。
 ●里地・里山を活かしたまちづくりを進める。

生ゴミの堆肥化などの推進
 地産地消の推進

2.取組課題の絞込み
●生ごみのリサイクルと地産地消の取組

1 レストランあさお
 レストランあさおの生ごみを収集して東京農大に搬出
 2 東京農大
 東京農大のリサイクル研究プラントにて生ごみから肥料「みどりくん」をつくる
 3 農家
 肥料「みどりくん」を使って野菜を生産、レストランあさおにて生産された野菜を使ったメニューを提供

●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム開催

日時 平成21年11月29日
 場所 麻生区役所第1会議室
 内容 講演、事例発表、パネルディスカッション

●麻生区エコカルテの作成

1 麻生区内の環境に関するデータ
 気温、緑、河川、自然エネルギー、ごみ減量、食と農など
 2 区内のエコ関係の取組紹介
 自然エネルギー、省エネ、廃棄物減量とリサイクル、緑と農

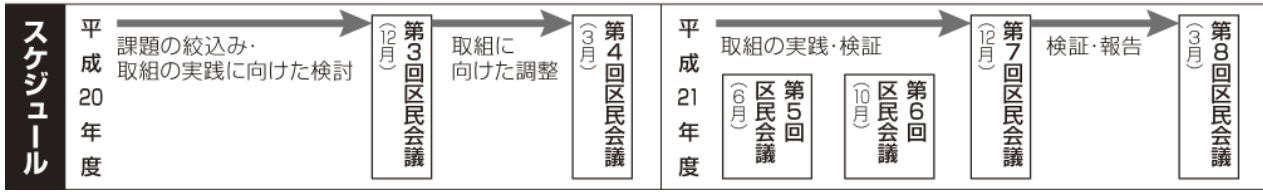
3.取組の担い手
●生ごみのリサイクルと地産地消の取組
 レストランあさお
 東京農大
 農家
 環境局
 区役所

●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム
 区民会議
 JA
 区役所

●麻生区エコカルテ
 区民会議
 小学校校長会
 総合教育センター
 区役所

●環境家計簿の作成
 麻生まちづくり市民の会で取り組む環境家計簿コンテストに協力

4.取組の成果
●レストランあさおの生ごみを東京農大へ搬出(21.3開始)
●東京農大で製造したみどりくんを農家へ(21.3)
●農家で栽培した野菜をつかってレストランあさおでランチ提供(21.6開始)
●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム(21.11.29)
●麻生区エコカルテ作成(22.3)
●環境家計簿麻生まちづくり市民の会が取り組む環境家計簿コンテストに参加(21.9~)



第2期麻生区区民会議「心が響きあう地域づくり」に向けた提言

| 地域交流部会 | |
|---|--|
| 課題 | 提言 |
| <p>●市民活動推進</p> <p>地域の市民活動支援の場としての活用</p> | <p>○地域拠点施設としてのこども文化センターの認知度が低い ため、積極的な広報が必要である。</p> <p>○「区役所」のホームページ、市政だより区版を使った広報が 必要である。</p> <p>○利用促進のためのチラシ等を作成する必要がある。</p> <p>○区内全てのこども文化センターが連携した取組みや「地域の拠 点」施設の利用促進を図るために、まずは情報交換の場を設け られるよう働きかけていく必要がある。また、それらを通じ、 市民利用促進に向けた具体的取組みに結びつくことを期待す る。</p> <p>○将来的に、こども文化センター以外の市民活動支援の場を増や していくべきである。第1期で行った「老人いこいの家」の利 用についての提言なども踏まえ、引続き区民が利用しやすい施 設運用への提案など行っていく必要がある。また、より市民が 使いやすい施設とするため、将来的には条例改正も含めた検討 を期待する。</p> |
| <p>●文化芸術のまちづくり</p> <p>川崎・しんゆり芸術祭の 雰囲気づくりなど側面支 援</p> | <p>○区民会議が関係団体と協力して行った絵画展は、芸術祭の雰 囲気づくりや開催ムードを盛り上げるという点では成果があっ た。</p> <p>○川崎・しんゆり芸術祭は継続して開催していく予定であり、今 後も芸術祭を盛り上げる企画は必要である。</p> <p>○新百合ヶ丘駅周辺では、美化ボランティア団体による清掃活動 が月2回定期的に開催されており、今後の広がり期待したい。</p> <p>○第2期の区民会議の委員も可能な限り清掃活動に参加したが、 第3期の区民会議でも可能な限り参加してほしい。</p> |
| <p>●異世代間の交流</p> <p>世代を超えた交流の必要 性</p> | <p>○専修大学の学生が企画した「エコバッグづくりを通じて世代間 交流」は、子どもたち、高齢者、学生と世代を超えた盛り上が りをみせ、世代を超えた交流づくりにつながった。</p> <p>○区民会議がコーディネートした取り組みは、少しずつ地域の中 への広がりをみせており、今後の地域への展開を期待したい。</p> |
| <p>●地域コミュニティ</p> <p>日頃からあいさつが交し 合えるような関係づくり</p> | <p>○今回作成した「事例集」を活用し、地域の中で自然とあいさつ ができるような関係づくり、コミュニティ活動につなげてほし い。</p> |

| 環境部会 | |
|--|--|
| 課題 | 提言 |
| <p>●エコのまち麻生の推進 持続可能な地域社会の創造を目指して</p> | <p>①都市における生ごみリサイクル</p> <p>○リサイクルの方法については肥料化、堆肥化、家畜の飼料化、バイオマスエネルギー化などが考えられますが、置かれた状況により最適な方法を選択すべきと考えます。</p> <p>○現時点では東京農大型プラントによる肥料化が適していると考えました（詳細はP23参照）。</p> <p>②生ごみリサイクルと地産地消で都市農業振興、緑地保全のまちづくり</p> <p>○毎日出る生ごみが肥料になり、その有機肥料で作られた新鮮で安全安心の地場産野菜が家庭で購入され、結果として都市農業の振興・緑地保全につながると共に食料自給率の向上など資源循環の持続可能な地域社会の創造へ進むことが期待される。この関係性を区民に提起し、理解を深め、進めていくことが必要です。</p> <p>○上記の具体化に向けて「生ごみ肥料化プラント」の設置場所（条件的に最適と思われる王禅寺ごみ処理センター敷地内案も含めて）や、段階的進め方などを検討するためのプロジェクトチームを区民、農家、農業団体（農協など）、大学（東京農大、明治大など）、行政（環境局、経済労働局、麻生区役所）などが参加した形で立ち上げてほしい。</p> <p>○レストランあさおでのモデル事業は、区民に「生ごみリサイクルと地産地消」を意識してもらうためにも継続してほしい。</p> |
| <p>●環境教育 麻生区エコカルテの活用</p> | <p>○区内小中学校等に配布し、環境学習等を行う場合の基礎データとして有効活用してほしい。</p> <p>○今後の展開として、区民の身近なエコの活動につなげてほしい。</p> |
| <p>●他団体への協力</p> | <p>○市内ではじめて麻生区役所で開催した「生ごみリサイクル相談会」は、区民の意識高揚を図る意味でも継続実施できるよう協力してほしい。</p> <p>○今後も、同じテーマに取り組む各団体と連携・協力して進めていくことが必要であり、関連団体同士のコーディネートを区民会議が担うのも重要課題と思われる。</p> |

4 区民会議フォーラムについて

1 区民会議出前フォーラム

区民の方々に区民会議をもっと知ってもらおう、区民の方々と意見交換をしようということで、出前フォーラムを開催しました。区役所から外に飛び出し、区内3箇所で開催しました。

●開催概要

- 第1回 平成21年2月21日(土) 13:00~15:30
北部リハビリテーションセンター会議室 参加者24名
第2回 平成21年2月28日(土) 13:00~15:30
麻生区役所柿生連絡所会議室 参加者9名
第3回 平成21年3月1日(日) 13:00~15:30
はるひ野黒川地域交流センターホール 参加者10名



(各回共通プログラム)

- ①ミニコンサート(昭和音楽大学の学生によるミニコンサート)
- ②区民会議報告
- ③会場との意見交換

●区民会議出前フォーラム参加者アンケート集計結果

本日の会合を知ったのは? (いくつでも○)

| 知人 | 市政だより区版 | 区民会議ニュース | チラシ | 新聞 | その他 |
|----|---------|----------|-----|----|-----|
| 16 | 18 | 3 | 5 | 0 | 2 |

(その他:町会回覧物、マイタウン21)

麻生区区民会議の取組“心が響きあう地域づくり”についてご理解頂けましたか?

| 理解した | まあ理解した | 理解できなかった |
|------|--------|----------|
| 10 | 12 | 2 |

あなたの地域では、“心が響きあう地域づくり”を進めていると思いますか?

| 既に進めている | これから進めようとしている | 進めていない |
|---------|---------------|--------|
| 9 | 2 | 11 |

どんな取組（地域活動）に関心がありますか？（いくつでも○）

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|------|-------|-------|-----|
| 防犯 | 防災 | 環境 | 美化 | 文化芸術 | 高齢者支援 | 子育て支援 | その他 |
| 11 | 11 | 21 | 7 | 4 | 13 | 12 | 0 |

差し支えなければ、あなたご自身について教えてください。

① あなたのお住まいは

| | |
|------|------|
| 麻生区内 | 麻生区外 |
| 28 | 1 |

② 年齢

| | | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 20歳未満 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 |
| 0 | 0 | 2 | 4 | 2 | 9 | 11 | 1 |

③ 性別

| | |
|----|----|
| 男 | 女 |
| 17 | 12 |

あなたの地域では、“心が響きあう地域づくり”を進めていると思いますか？

その取組で上手くいっていることや困っていることについてご記入ください。

- ・自治会活動と連携するも住民自治活動であることの長所短所あり。
- ・地域に住んでいる人たちには様々な人がいる。一緒に同じ方向に進むことに抵抗がある人もいるので早急に同じ方向へ強く進めることに時代の影響もあり苦慮している。緩やかな働きかけがいいのではと思っている。
- ・集合住宅で自治会の組織化も困難。
- ・92戸のマンションの中ではある程度やっているが他の町会との連携ができていない。
- ・防犯パトロール会員が100名いる。はるひ野、黒川地区の犯罪件数は少なくなっている。
- ・ビン・缶の回収に大きい網袋を使っている。ごみ用の20ℓや30ℓの袋を使わずにすんでいる。

「区民会議」や本日の運営などについてご意見があればご記入ください。

- ・地域へ出張する意欲を評価する。地域の住民組織や町会自治会への呼びかけはあったのか。
- ・大変結構な催しで日常生活のすごし方について反省させられました。但し、今は地元の自治会運営に苦慮しながら力を注いでいますので余裕がない。

-
- ・広報不足ではないでしょうか。いい機会にしては参加者が少ないように思う。提言の実現が問題であり、実現できたもののPRを大いにやってほしい。これが区民会議を理解する最良の方法だと思う。
 - ・とてもよくできているように思う。まちづくり市民の会との違いと連携は？力が分散されてもったいないように思う。
 - ・区民会議は行政へ正式に要求でき、それをフォローできる会議であるようなので、この建前はしっかりやってもらいたい。本音として色々応用動作を取ることは結構なことと思う。
 - ・環境部会の取組について賛成です。特に生ごみリサイクルは地産地消も実現できる取組なので進めてほしい。麻生区にふさわしい取組だと思う。レストランあさおで地元産野菜を使ったメニューのものが供されるのはすばらしい。農家の写真も載せてほしい。
 - ・区民会議を知らない人が多数いることがわかり、周知に積極的に取り組んでいることにほっとした。
 - ・区民会議について勉強不足でした。
 - ・大変勉強になりました。また参加したい。
 - ・区民会議の設置目的、意義と活動状況をどうやったら区民により深く広く認識してもらうか。これが必要な点と考える。
 - ・区民会議の広報に町内会自治会の掲示板や回覧をうまく利用したらいいと思う。区民会議への提案箱はあるのか。
 - ・参加者が少なくさびしかった。
 - ・若い人たちや新しい住民でも会議に参加しやすい広報をお願いしたい。
 - ・活動の様子がよくわかり、また意見もたくさん出てよかったと思う。

その他

- ・配布資料の文字が小さく黒味が強くて非常に読みにくい。今までこの会に参加している人はよくわかるだろうが、初めて参加したものにも明確に理解できるような配慮があったらと思う。
- ・区民会議、期待しています。

2

生ごみリサイクルと地産地消フォーラム

●開催概要

日時 平成21年11月29日(日)午後1時～午後4時

場所 麻生区役所4階 第1・2会議室

実施内容

基調講演 東京農業大学 後藤教授

事例発表①じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会

②あさお生きごみ隊

③環境を考え行動する会

④区民会議環境部会

パネルディスカッション

- ・コーディネーター 西谷委員長
- ・パネラー 東京農業大学 後藤教授
明治大学 玉置教授
JA セレサ川崎 梶部長
環境局廃棄物政策担当 佐藤主幹

生ごみ堆肥・肥料でつくった花、野菜の写真展

参加者132名

会場の様子



【会場風景】



【写真展】



【展示ブース】



【野菜直売所】

先着 100 名様に季節の野菜または生ごみ肥料「みどりくん」を贈呈します！

生ごみリサイクルと地産地消フォーラム

—麻生区での循環型社会、エコのまちづくりをめざして—

区民会議では「生ごみのリサイクルと地産地消」の取組みを進めています。家庭の生ごみを燃やさないで肥料化し、農家で野菜栽培に使用。その野菜を区民が食すというごみ減量と安全な食品の地産地消の資源循環をめざしています。

区民の皆さんのご意見を！

都市部におけるごみ減量リサイクル及び地産地消のあり方や将来について考えるフォーラムを開催します。是非 御参加ください。



(C)タウンニュース

柿生野菜生産者直売会による「直売コーナー」も設置します！

日時 11月29日(日) 13:00~16:00
会場 麻生区役所 4階 第1会議室

フォーラムの内容(プログラム)

- ① **講演** テーマ「生ごみリサイクルで環境にやさしい地産地消」 東京農業大学 後藤逸男教授
- ② **取組み事例発表**
 - ・「じゅんかんチャレンジ 桜丘」の取組み じゅんかんチャレンジ 桜丘推進協議会 (世田谷区)
 - ・市民、農家、行政の連携による「生ごみ堆肥化」 あさお生きごみ隊 (麻生区)
 - ・手軽にできる「ダンボールポストで生ごみリサイクル」 環境を考え行動する会 (麻生区)
 - ・「レストランあさお」のモデル事業 麻生区区民会議 環境部会 (麻生区)
- ③ **パネルディスカッション**

| | | |
|----------|-----------------|---------|
| コーディネーター | 麻生区区民会議 | 西谷明子委員長 |
| パネラー | 東京農業大学応用生物科学部 | 後藤逸男教授 |
| | 明治大学農学部 | 玉置雅彦教授 |
| | J A セレサ川崎営農経済本部 | 梶 稔部長 |
| | 川崎市環境局廃棄物政策担当 | 佐藤好子主幹 |
- ④ **展示コーナー**
 - ・展示ブースで各団体の取組みを展示、説明
 - ・写真展 (生ごみ堆肥・肥料で育てた花や野菜の写真)



主催 麻生区区民会議 (事務局 麻生区役所企画課 TEL044-965-5112)

●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム参加者アンケート結果

65 名の方からアンケートの回答をいただきました。表中の割合は回答者数 65 名に対する割合を示しています。

1. 本日のフォーラムをどちらでお知りになりましたか。(複数回答)

| 項目 | 回答(人) | 割合 (%) |
|--------|-------|--------|
| 市政だより | 21 | 32.3% |
| チラシ | 25 | 38.5% |
| ホームページ | 2 | 3.1% |
| 知人 | 19 | 29.2% |
| その他 | 9 | 13.8% |
| 無回答 | 1 | 1.5% |

2. 基調講演の感想についてお聞かせください。

| 項目 | 回答(人) | 割合 (%) |
|----------|-------|--------|
| 大変参考になった | 38 | 58.5% |
| 参考になった | 24 | 36.9% |
| 少し参考になった | 2 | 3.1% |
| どちらでもない | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 1.5% |

【「その他」の主なご意見】

- ・ダンボールコンポストをしておりますが、間違い、又は新しい知識を得て良かったと思います。今後に活かしたいと思います。

3. 事例発表の感想についてお聞かせください。

| 項目 | 回答(人) | 割合 (%) |
|----------|-------|--------|
| 大変参考になった | 20 | 30.8% |
| 参考になった | 32 | 49.2% |
| 少し参考になった | 8 | 12.3% |
| どちらでもない | 3 | 4.6% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 3.1% |

【「その他」の主なご意見】

- ・ダンボールコンポストの会に一度参加してみたいと思いました。
- ・各々のグループが生ゴミの減量を通じて、環境への配慮をしていることが身近に感じた。

4. パネルディスカッションの感想についてお聞かせください。

| 項目 | 回答(人) | 割合 (%) |
|----------|-------|--------|
| 大変参考になった | 17 | 26.2% |
| 参考になった | 24 | 36.9% |
| 少し参考になった | 6 | 9.2% |
| どちらでもない | 2 | 3.1% |
| その他 | 2 | 3.1% |
| 無回答 | 14 | 21.5% |

【「その他」の主なご意見】

- ・生きごみ隊会員として、明治大学の地域貢献へ期待できそうで喜ばしい。JA にも積極的に取り組んでほしい。

5. 展示コーナー（ブース・写真展）の感想についてお聞かせください。

| 項目 | 回答(人) | 割合 (%) |
|----------|-------|--------|
| 大変参考になった | 10 | 15.4% |
| 参考になった | 29 | 44.6% |
| 少し参考になった | 7 | 10.8% |
| どちらでもない | 3 | 4.6% |
| その他 | 2 | 3.1% |
| 無回答 | 14 | 21.5% |

【「その他」の主なご意見】

- ・段ボールコンポストの材料が、この場で分けてもらえないことが残念だった。

6. 区役所広場に設けた農産物直売コーナーについて感想をお聞かせください。

【主なご意見】

- ・新鮮野菜が低価格販売で良かった。
- ・区役所に来る機会も多いので、直売コーナーは多くやって欲しいです。
- ・生産者の顔が見えるものがより良かった。
- ・地域の野菜が近くですぐに手に入るという点では、とても良いと思いました。
- ・地産物のPRとして大変良いと思う。もう少し規模が大きいといい。

7. どんな取組（活動）に関心がありますか。（複数回答）

| 項目 | 回答(人) | 割合 (%) |
|-------|-------|--------|
| 環境 | 57 | 87.7% |
| 美化 | 17 | 26.2% |
| 文化芸術 | 15 | 23.1% |
| 防犯 | 10 | 15.4% |
| 防災 | 16 | 24.6% |
| 高齢者支援 | 23 | 35.4% |
| 子育て支援 | 10 | 15.4% |
| その他 | 5 | 7.7% |
| 無回答 | 3 | 4.6% |

8. 麻生区区民会議についてご意見があればご記入ください。

【主なご意見】

- ・テーマがはっきりしていて、分かりやすいフォーラムでした。
- ・無関心な区民も少しずつでも巻き込む努力を。
- ・活動内容を広く市民に宣伝するべきだと思います。
- ・生きごみ隊や段ボールコンポスト等の市民のエコ活動を区全体に拡大してはどうか。
- ・今まで知らなかったが、これからも活発に、市民のために大いに活動して下さい。
- ・体験農園をして、7年目になるものですが、今日の話は非常に発展性のあるワクワク、ドキドキするものでした。何らかの形で関わりたいと思いました。

●開催概要

- ・第2期区民会議の取り組み状況を区民の方々への報告と意見交換をするためのフォーラムを開催しました。
- ・特別ゲストとして、NHKの人気番組の一つである「難問解決！ご近所の底力」のチーフプロデューサー堂垣彰久氏をお招きし、番組制作の裏話、番組で取り上げた成功事例の紹介など、地域の課題解決に向けたヒントをお話しいただきました。

●日時

平成22年2月7日（日）午後1時～4時

●場所

麻生区役所4階 第1・2会議室

●参加者

130名

●内容

第1部 アトラクション

昭和音楽大学の学生によるミニコンサート

第2部 区民会議報告

企画部会の報告（神本部会長）10分

環境部会の報告（伊藤部会長）10分

地域交流部会の報告（根占部会長）10分

会場との質疑応答 20分

第3部 基調講演

NHK「難問解決！ご近所の底力」

チーフプロデューサー

堂垣彰久（どうがき あきひさ）氏

「地域の課題を地域で解決」～番組の仕掛人が語る～



堂垣氏のプロフィール

平成元年NHK入局。番組制作ディレクター・デスク・プロデューサーとして、青森、東京、仙台、松江で勤務。「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」などを担当。平成20年より、「難問解決！ご近所の底力」のチーフ・プロデューサーとなり、現在に至る。総務省「地域力創造に関する有識者会議」委員。

第4部 麻生区の底力

都市型コミュニティに取り組む区内の町会・自治会が展示ブースを設置、先進的な取組事例を紹介。

栗木町内会、山口台自治会、片平町内会、岡上町内会、万福寺町内会、新万福寺町内会、搭之越自治会、下麻生自治会、虹ヶ丘団地2丁目自治会

●区民会議フォーラム参加者アンケート結果

61名の方からアンケートの回答をいただきました。表中の「割合」は回答者数61名に対する割合を示しています。

1. あなたご自身のことについて

①お住まいはどちらですか

| 項目 | 回答(人) | 割合(%) |
|------|-------|-------|
| 麻生区内 | 53 | 86.9% |
| 麻生区外 | 6 | 9.8% |
| 無回答 | 2 | 3.3% |

②性別、③年齢

| 性別 | 回答者数 (%) | 年代 | | | | | | | | |
|-----|-------------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|---------|
| | | 20歳 未満 | 20歳 代 | 30歳 代 | 40歳 代 | 50歳 代 | 60歳 代 | 70歳 代 | 80歳 以上 | 無回 答 |
| 全体 | 61(100) | 0 | 0 | 1 | 4 | 9 | 20 | 23 | 2 | 2 |
| | 100 | 0.0 | 0.0 | 1.6 | 6.6 | 14.8 | 32.8 | 37.7 | 3.3 | 3.3 |
| 男性 | 38(62.3) | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 11 | 18 | 2 | 1 |
| | 100 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 5.3 | 7.9 | 28.9 | 47.4 | 5.3 | 2.6 |
| 女性 | 19(31.1) | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 | 7 | 4 | 0 | 0 |
| | 100 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.5 | 31.6 | 36.8 | 21.1 | 0.0 | 0.0 |
| 無回答 | 4(6.6) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| | 100 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 |

2. 本日のフォーラムをどちらでお知りになりましたか。(複数回答)

| 項目 | 回答(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 知人から | 17 | 27.9% |
| 市政だより区版 | 24 | 39.3% |
| 区民会議ニュース | 15 | 24.6% |
| 新聞 | 1 | 1.6% |
| チラシ | 20 | 32.8% |
| ホームページ | 4 | 6.6% |
| その他 | 15 | 24.6% |

3. 区民会議の取り組みについてご理解頂けましたか？

| 項目 | 回答(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 理解した | 15 | 24.6% |
| まあ理解した | 33 | 54.1% |
| 理解できなかった | 7 | 11.5% |
| その他 | 4 | 6.6% |
| 無回答 | 2 | 3.3% |

【主なご意見】

- ・もう少し町会、自治会テーマ解決に努力してもらいたい。
- ・初めて参加して発表を聞いたが、この会議の目的、活動成果が未だ見えない感じがする。
- ・地域とのつながりが無い。

4. 基調講演の感想についてお聞かせください。

| 項目 | 回答(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 大変参考になった | 26 | 42.6% |
| 参考になった | 23 | 37.7% |
| 少し参考になった | 7 | 11.5% |
| どちらでもない | 1 | 1.6% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 4 | 6.6% |

5. 展示コーナーの感想についてお聞かせください。

| 項目 | 回答(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 大変参考になった | 8 | 13.1% |
| 参考になった | 28 | 45.9% |
| 少し参考になった | 14 | 23.0% |
| どちらでもない | 2 | 3.3% |
| その他 | 3 | 4.9% |
| 無回答 | 6 | 9.8% |

【主なご意見】

- ・一部しか展示されていないので参考にならなかった。もっと区全体を網羅してほしい。
- ・とても楽しそうなコメントが書かれていて、私も生ゴミ堆肥を頑張ろうと思った。
- ・もっと実際に即し、きれいごとに終わらせないで下さい。

6. どんな取組（活動）に関心がありますか。（複数回答）

| 項目 | 回答(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 環境 | 42 | 68.9% |
| 美化 | 19 | 31.1% |
| 文化芸術 | 15 | 24.6% |
| 防犯 | 25 | 41.0% |
| 防災 | 28 | 45.9% |
| 高齢者支援 | 22 | 36.1% |
| 子育て支援 | 13 | 21.3% |
| その他 | 5 | 8.2% |
| 無回答 | 1 | 1.6% |

7. 麻生区区民会議についてご意見があればご記入ください。

【今後の区民会議のあり方について】

- ・「個人の生活にどうつながっているのかがわからない」という意見があり、区民会議のあり方に対する疑問が心に残った。既存の組織（町内会、子供会、まちづくりクラブ等）とは別に区民会議を立ち上げた意味を今一度明確にする必要がある。
- ・区民会議は全てのことを網羅しているとはとても思えない。目的とか信条はどう説明されるでしょうか。
- ・第2期になり活動が地についてきたと思う。地域交流部会では、なかなか取組みが難しいことの種が播かれた。まちづくりの今後を担う人達（麻生区を故郷とする人達）を巻き込んでゆくことが「まちづくり」の根本になる。区民会議の実績になり、区民会議の認識が高まることを期待する。
- ・第3期への引継ぎが肝心。その際、第1期報告書を改めて検証して、その結果も第3期に反映してほしい。
- ・第1の目的は人のつながり、絆をつくる、広げることだと思う。その方法は何でもよい。活動内容が第1目的ではないが、継続するためにも、楽しくて役に立つことが必要かと思う。とにかく多くの人を引っ張り出したい。
- ・区民会議も2年目。形だけでいつも結果が出ないのは困る。

【区民会議の検討テーマについて】

- ・区の課題（いくつかの地域の課題から選んで検証した結果）は、その期のテーマとなっていくのか。選ばれたテーマを課題と思っていた方は満足するが、違うテーマだった方は不満です。テーマの選定を丁寧にやり、情報の公開が丁寧に行われることが必要ではないか。今後も大きな課題を先に見ながら、それを地域におろして課題と捉えて、まず動いてみてほしい。
- ・麻生区を取り巻く公共交通と地域内交通のあり方について、特に地下鉄導入と高齢化や環境問題などから自家用車よりコミュニティバスなどの導入などを取り上げてはどうか。

【区民会議と自治会等とのつながり】

- ・区民、町会、自治会とのつながりがよく分らない。
- ・区民会議と区民の連携の難しさは、どの区でも同じと思った。基調講演の中に「人集め」のヒントがあったように思う。
- ・麻生まちづくり市民の会と区民会議とのコラボレーションの必要性を感じる。
- ・区、議会、自治会等と区民会議を体系化し具体的事業を示す事が必要ではないか。
- ・今後もモデル事業への取り組みを続けるのであれば、町連との具体的な協力体制（特に環境関係）がつけれると活動が大きく広げられるように感じる。町連から各自治会、町内会に参加を呼びかけたらどうか。
- ・区民と区民会議が距離を縮めることができるとよいと思う。

【区民会議と個人の生活とのつながり】

- ・現実、私達ができるよう（ゴミのリサイクル）なものにして頂きたい。我が家で肥料が作れるととっても良いです。
- ・自分の生活とどう関わっているのか、まだよくわからない。

【区民会議の活動やイベントのPR】

- ・「区民会議」のホームページから今日のイベントがあることを見る事ができませんでした。「区民会議」を広報していく姿勢が足りないのではないか。
- ・区民会議で話し合われたこと、区民からの提言等により取組み始めたこと、実現したことなどをフォーラムの時にパネル等で発表したらどうか。子育ても大切だが区役所の吹き抜け広場に高齢者に関する活動をパネル展示してほしい。よい活動がたくさんあるのに区民に届きにくいので是非やってほしい。
- ・提言だけではなくモデル事業を行うと、目に見える活動PRになり、市民の理解を得やすくなる点が良いと思う。

【基調講演】

- ・前半の会議の報告、初めて聞きましたので今後の参考になった。後半のNHKの話は具体的で大変参考になった。特に継続性、まとめの話が具体的で、今後の自分の方針になった。（まだ自治会活動はしていない）9つの事例の紹介、大変おもしろかった。
- ・基調講演が非常に参考になった。あまり専門的でなく、難しく考えない発想が必要だという事がポイントだと納得した。

【市議との対話の場づくり】

- ・6月議会で成立した議会基本条例の中に議員は市民と市政について意見交換と交流に努めなくてはならない主旨の条文がある。ぜひ区民会議が主催する区選出議員と区民の対話の場をつくってほしい。

【町内会、自治会の展示について】

- ・町内会、自治会のブースに加入率がありましたが、実態と全く違うと思う。行政として登録世帯分の加入状況を正しく報告してほしい。

5 第3期麻生区区民会議に向けて

～第2期区民会議委員の意見・感想等～

2年間の取り組みを通じて、第2期区民会議委員から主に次のような意見が出されました。

1 第2期区民会議について

(1) 会議の運営について

①本会議の運営、専門部会の設置・運営について

■評価する意見

●運営全般について

- ・本会議・専門部会とも会議時間・回数ともに適当と思う。
- ・運営は問題なかった。特に委員長の議事進行はとても上手で大変良かった。
- ・議長、副議長、各部会のそれに行政の方々が大変ご苦労されたことと思われ、感謝の気持ちでいっぱいである。
- ・設置・運営ともによかった。2期目の委員長と企画課各位のご尽力に感謝。
- ・事務局の対応が適切で良かった。
- ・課題の整理・調整、まとめを適切に行った区役所企画課の方々の力は大きく、会議がスムーズに進行することにつながった。
- ・専門部会の設置により、本会議がスムーズだったり、また、本会議では聞けないようなご意見をきけたりして、よいバランスだった。
- ・内容が多岐にわたるため専門部会の設置は的確であった。運営についても特に問題なくよかった。

●企画部会について

- ・企画部会を置いての調整は必要である。

●専門部会について

- ・テーマごとに分けるのはいいアイデアだと思った。
- ・委員の人数から考えて妥当な部会の設置だった。
- ・部会制にすることで、より発言しやすく、活動しやすかった。
- ・専門部会の設置については、地域が抱える課題を反映したものになっていた。また、運営も、各委員の皆さんが良く発言され、積極的に行われていた。
- ・課題を絞って議論を煮詰めていくためには専門部会の設置は妥当と思われる。

■改善等についての意見

●運営全般について

- ・関心のあるテーマごとに委員がグループに分かれ、市民や参与や有識者を加えて調査プロジェクトを立ち上げ、自由に深く調査審議していく運営も必要である。
- ・委員が多忙すぎる。

●本会議について

- ・本会議は2年間で数えるほどの回数なので、出席率を高める工夫が必要である。

- ・本会議では部会での内容を踏襲する形となり、各々の委員の発言が少なくなった。また、所属以外の部会の報告・提案については、疑問質問も含めもっと意見交換ができればよかった。
- ・団体推薦、区長推薦、公募で問題意識が多様で、テーマへの関心度合いが違っているため、本会議での意見が少なかった。
- ・本会議のみ参加する参与（議員）に力を出してもらった場がなかった。

●企画部会について

- ・企画部会は必須の部会で、担うべき役割も明確なため、今後はもう少し委員が主体的に参画していく努力が求められる。
- ・企画部会は他の専門部会と性格が異なっているので、ひとくくりにするのはどうか。

●専門部会について

- ・それぞれの部会の課題や進行状況が見えない部分がある。
- ・部会の課題を絞りすぎたのではないか。
- ・専門部会では、委員達はその問題の専門家ではなく、温度差がかなりある為、入口の議論ばかりで、深く掘り下げ発展的な課題解決にまでは至らなかった。
- ・住民が望むことと、私たちにできることの差が大きい。老人や子どもといったテーマで第1期・2期と調べたが、調査だけに終わっているのが残念である。

②本会議・専門部会の会議時間・回数について

■評価する意見

●全般について

- ・第1期に比べて時間は厳守されていた。回数も妥当だった。
- ・内容からみて会議時間・回数ともに必要最低限であったと思う。
- ・予算もあり回数は適切。
- ・委員の出席状況から考え、実施された会議時間・回数でよかったと思う。
- ・各委員が多忙という状況の中では、会議時間、回数はこの程度にならざるを得ない。
- ・私としては無理のない範囲だった。

●本会議について

- ・本会議後の懇親会は、本会議のみではコミュニケーションがなかなかとれない中、意味があったと思う。

●専門部会について

- ・専門部会は必要に応じて開催するなど柔軟な対応ができるので特に問題はない。
- ・専門部会はよく話しあいができ、充実した内容だった。

●出前フォーラムについて

- ・出前フォーラムは、区民会議を区民に周知されるため意義があったのではないか。

■改善等についての意見

●全般について

- ・時間、回数とも予想していたより多かったので調整しきれなかった。
- ・会議についてももう少し頻度があってもよいのではないか。
- ・本会議は部会の報告が主になり、話し合いや意見交換ができなかった。そのため部会で進める内容に重点がおかれ区民会議全体としての意識が薄くなりがちだった。傍聴者も話し合い等を聞きたかったのではないか。

●本会議について

- ・本会議の回数が少なく、委員が考慮して発言を控えてしまっているケースが多い。本会議の回数を増やしてほしい。
- ・本会議で委員の発言が少なく、決まった委員の発言により運営されている。一人一人が考えて欲しい。
- ・本会議を2～3回増やしてもよいと思う。
- ・小さい子どもがいる主婦には午後からの本会議に出席することが難しかった。できれば午前中がありがたい。
- ・本会議の時間は午後に行い3時間は必要。

●専門部会について

- ・今のやり方なら適切回数であるが、深く掘り下げる場合は専門部会内の会議がもっと多く必要となる。
- ・専門部会において適当な時期に懇親会を開いて本音の議論をすることが必要。

(2) 課題の選定・取組について

①委員・区民からの課題の集約について

■評価する意見

- ・委員からの課題集約はよく行われていたと思う。
- ・企画部会で多くの課題をフィルターにかけて選定し、それを各部会で検討する形式は、部会の運営がスムーズに進行してよかったのではないか。
- ・区民から課題を応募するのも一つの方策だが、選ばれた委員からの課題の集約とそれへの取り組みで十分だと思う。
- ・3部会とも課題がリアルタイムだった。
- ・多くの課題がある中、ポイントが絞り込まれ、具体化につながったと思う。
- ・課題の内容が多岐にわたっていたが、取組課題を絞り込み成果に結びついたと思う。
- ・1期・2期と参加し、1期基礎固め、2期実践という形になり、2期ではそれなりの成果をだすことができたと思っている。
- ・区民からは集約する機会が少なかった。ただ、委員自身が区民の代表と考えれば、これで良いのかもしれない。

■改善等についての意見

- ・団体推薦・区長推薦委員からの課題提起がもう少し積極的に出されると取組課題がより説得力を持ったものになると思う。
- ・団体推薦でありながら、その団体が活動する分野の課題を提示しきれなかったように思う。

- ・課題の絞込みが重要。大きな課題だと区民に浸透できたのか疑問。
- ・区民会議は長期的なビジョン（都市計画マスタープラン）の実現に向かって議論・実践していくものと位置づけている。そうでないと各期それぞれ課題が異なり、目標のない取り組みに終わってしまうのではないかと機軸を覚える。
- ・子どもの調査で見えてきたのは、保育施設の不足、親の就労時間延長に伴う子どもの一人時間の長さ、心の問題であったが、区民会議で何ができるか思いつかず、大変難しいと感じた。
- ・区民からの意見はあまり集約できなかった。
- ・提案箱・ホームページなど開かれてはいるが、知名度が低いためか区民からの意見・要望など提案が少ない。区民の意見・提案を中立の立場で調査審議していくことも重要なので、多くの声を集める必要がある。

②モデル事業の実施について

■評価する意見

- ・大いに評価されている。
- ・期待以上に成果があったと思う。
- ・具体的に実施できた。
- ・区民に広めることができている。
- ・地域へ出て活動し、市民の方々の参加もいただけてよかった。今後にもつなげることができると思う。
- ・エコの取り組みで行・学・民によるモデル事業が実施できたことは特筆に値するのではないかと。
- ・大学・学生・会社・団体等の参加は地域の活性化につながると思う。
- ・区民に区民会議を認知してもらうためには、一ヶ所でも多くのモデル地区を選び、事業を実施すると関心度が高まるので、今後もぜひ継続して欲しい。
- ・地域交流部会、環境部会とも良く事業を実施したと思う。
- ・解決策の具体的な一案としてとても有効だった。実際に区内全域から市内へ適用していくには別の課題が生じることもあると思うが、現状に一石を投じることになった。
- ・環境部会のモデル事業は、都市における生ごみリサイクルと都市農業の振興、緑地保全のまちづくりに生かしていける一つの事例になると思う。

■改善等についての意見

- ・モデル事業が発展的に定着するケースがない。折角、市民発意のモデル事業なのだから、まずは、自律的、発展的なシナリオを描いてほしい。
- ・モデル事業実施後の検証がなされていないように思う。モデル事業をモデルで終わらせず、提言にまで持っていくような審議が必要。
- ・今後もモデル事業を実施するにあたり、「しんゆり芸術のまちづくり」フォーラムとの連携は、行うべき。
- ・地産地消は旬の話題であり、よかったと思うが自給率アップに繋がられる仕掛けがほしかった。

■コーディネートの役割、横につなぐ、点から線・面へ

- ・区民会議の役割は、すでに活動しているが、個別的な活動になりがちな地域団体、市民活動団体を必要に応じて、コーディネートすることである。そのことによってネットワークへの動きが生まれ、相互支援・協力・連携といった望ましい状況が説得力をもって実現する。
- ・コーディネートを行うことは、先進のグループがすでに行っている活動をなぞるという受け止め方が出てくるが、きちんと受け止め、説明できるようにする必要がある。
- ・区民会議が事業を行うことで、本来縦割りである区の予算と業務を連携することができた。今後も、区民会議が、区役所の枠組みを取り払い、発展的に事業を展開し、意見交換が行われることに期待する。
- ・区民会議で取り上げ、課題をクローズアップすることで区民の点の活動を線の活動から面の活動へとつなぎ、多くの人が共有するという流れができつつある。

■取り組みの継続・発展

- ・1期、2期で形になりつつあるものは、3期でも継続して成果につなげてほしい。
- ・2つの専門部会ともテーマがしぼれてきた。地域交流部会では老人と子どもというテーマで何ができるかと考えると、居場所づくりではないか。
- ・アルテリッカしんゆりへの側面支援事業は毎年何らかの形で継続すべきだと思う。
- ・調査結果等を生かし、さらに成果があがることを期待します。
- ・1期、2期の精神（理念）、テーマ等を踏襲しながら、区民の求める新たな課題にチャレンジして行ってほしい。

■新たなテーマ、多彩なアイデアを期待

- ・“新しい公共”が新委員の多彩なアイデアから生まれることを期待する。
- ・麻生区民全体が参加できる課題を設定したらと思う。文化協会で考えている課題を次期には提起したい。
- ・生ごみ堆肥作りの過程と成果物のコンクールを実施してほしい。
- ・会議でのペットボトルの配布を中止してほしい。
- ・1期2期の内容をふまえ、また新たな課題を検討して進めてほしい。

■あるべき姿に基づいた議論を

- ・10年後、20年後の麻生区のあるべき姿・ビジョンに基づいて、それにむかって今何に取り組むべきか大いに議論されるよう期待している。

■取り組みを重視する、機能的な区民会議へ

- ・ 議論ばかりでなく、現場に入っていく等の試みも必要でないか。
- ・ 一般区民の意見・要望等をどのように把握するか。
- ・ 区民が日常抱えている課題や提案など、より多くの声をひろうことにも力を入れ、さらに実際的かつ具体的な取組ができ、機能的な区民会議になることを期待する。
- ・ 早くに取り組み課題を決めないと任期をまたいでしまうため、取組期間の長い提案はやれなくなってしまふ。⇒任期3年がよいかも？

■出前フォーラムの継続

- ・ 出前フォーラムは、地域住民に対して関心度を高め、理解していただけただけのではないかと思われるので、継続実施してほしい。

■区民会議への理解を進める、情報発信

- ・「行政の作文通りの・・・」という常套的、表層的な批判は良く出るものである。この批判に具体的にきちんと答えるため、ハンドブック『区民会議Q&A』を作成し、区民の理解を進める一助とするとよい。
- ・インターネットを活用した広報など、スピーディな会議報告と内容の充実が課題。
- ・ホームページの活用などまだ課題はあると思う。若い世代に向けてもできるだけアピールできるような工夫が必要と思う。

■勉強会等の実施

- ・専門部会でテーマが決まった場合、それに詳しい大学等の専門家を招いて勉強会（講演会）などを開催し、認識を深めた上で議論・実践することも必要ではないか。

■委員同士の交流

- ・委員の交流をはかる企画がよかった。委員同士のつながりがより密になったと思う。

■公募委員の増加

- ・公募委員の取組は非常に積極的であったと思う。もっと公募委員を増やした方がいいのではないか。

■市議会議員の役割・位置づけ

- ・市議会議員が来られていたが、区民会議での議論はどのように議会に反映されるのか。反映してほしいと思うが、反映されないのならば、あまり意味がないように思う。

■区の事務局に感謝

- ・区民会議をささえてこられた区役所企画課の皆さんの活躍も見逃せない。今後とも地域のために頑張ってください。
- ・事務局の皆様たいへんお世話になりました。特に、区民会議ニュースの作成ではご面倒をおかけしました。

■事務局等との役割分担

- ・事務局機能の整理・簡素化及び簡潔な資料づくりなど工夫や効率化が必要。
- ・区役所（事務局）とコンサルタント会社と区民会議委員との仕事分担や関係の整理が必要。